
TOSHIBA

Leading Innovation >>>

液晶ディスプレイ

取付 / 取扱説明書

機種名

TD-X55 シリーズ

TD-X551M/TD-X551X

ユーザーメモ

モデル番号・シリアル番号は液晶ディスプレイ本体の背面に記載されています。

モデル番号・シリアル番号を下記にご記入ください。
東芝の販売店にご連絡される際は、この番号をお伝えください。

品名 (型名) : _____



製造番号 : _____

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意






商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷（* 1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷（* 2）を負うことが想定されるか、または物的損害（* 3）の発生が想定されること”を示します。

- * 1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
- * 2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- * 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
 禁止	“⊘”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	“⓪”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	“△”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 ヒント	ヒントは、特定の機能を使用するためのショートカットや役に立つガイドラインなどを強調して示しています。
 メモ	メモは、重要度の高い情報や、特に注意が必要なことを強調して示しています。また、補足情報も記載されています。

警告

異常や故障のとき

- 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

- 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

- 落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したまま取り扱うと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

- 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する
万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。



指示

- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しない



屋外、シャワー室での取付け禁止

火災・感電の原因となります。

- 振動・衝撃のある場所に設置しない



振動禁止

振動・衝撃で液晶ディスプレイが移動・転倒し、けがの原因となります。

- 電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込む



指示

- 交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

- 壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する



指示

工事が不完全だと、けがの原因となります。

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意

つづき

設置するとき つづき

■ 転倒・落下防止の処置をする



転倒・落下防止の処置をしないと、液晶ディスプレイの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。
転倒・落下防止のしかたについては、設置環境によりしますので、工事専門業者にご依頼ください。

■ 電源コードは、本機の付属品を使用する



付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない



他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない



内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 電源コード・電源プラグは、



- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない
 - 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
 - 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- 火災・感電の原因となります。

■ 異物を入れない



通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら液晶ディスプレイ・電源コードおよび本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない



感電の原因となります。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が進んだりしないように注意する



かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

お手入れについて

■ ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する



電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

⚠ 注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない



直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 通風孔をふさがない



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 壁に押しつけないでください。（17.5mm以上の間隔をあける）
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない



湿器、調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動したり持ち運んだりする場合は、



- 包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、2人以上で取り扱うひとりで取り扱うと、からだを痛めたり、液晶ディスプレイを落としたりしてけがをしたりする原因となることがあります。

- 液晶ディスプレイを押ししたり液晶ディスプレイを支えていなかったりすると、液晶ディスプレイが落下してけがの原因となることがあります。
 - 衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う
- 液晶ディスプレイが破損してけがの原因となることがあります。

■ 車（キャスター）付きのスタンドに設置する場合は、キャスターが動かないように固定する



固定しないとスタンドが動き、けがの原因となることがあります。
曇やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないで、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

■ 振動・衝撃のある場所に設置しない



振動で液晶ディスプレイが移動・転倒し、けがの原因となります。

使用するとき

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない



タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない



電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

使用するとき つづき

■ 液晶ディスプレイやスタンドにぶら下ったり、上に乗ったりしない



落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■ 長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



万一故障したとき、火災の原因となることがあります。本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全に切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ リモコンに使用している乾電池は、

- 指定以外の乾電池は使用しない
 - 極性表示 (+) と (-) を間違えて挿入しない
 - 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない
 - 火や直射日光などの過激な熱にさらさない
 - 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
 - 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない
- これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。もれた液が目にはいたり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいたり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。



■ 液晶ディスプレイの画面をたいたり、衝撃を加えたりしない



ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。もしも、ガラスが割れて液晶（液体）がもれたときは、液晶に触れないでください。

もれた液が目にはいたり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいたり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となることがあります。

■ 1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店に相談する



本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

～最初に必ずお読みください～

使用上のお願いとご注意

取扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 移動など、速くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでぐるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 本機を譲渡する場合、全ての情報を初期化することをお勧めします。
- 本機を破棄する場合、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。

商標に関する情報

- Windows は Microsoft Corporation LLC の米国およびその他の国における登録商標です。
- VESA、DisplayPort および DisplayPort アイコンは Video Electronics Standards Association の米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing の商標または登録商標です。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

1. はじめに	1
本書について	1
表記の規則	1
説明、機能、利点	2
主な機能	2
同梱品一覧	2
2. コントロールと機能	3
各部の名称および機能	3
入出力端子およびコネクタ	5
リモコンユニット	7
3. 設置	9
リモコン	9
乾電池についての注意	9
リモコン操作についての注意	9
リモコンのロックとロック解除	9
簡単な設置手順	10
設置時の注意事項	11
取り扱い時の注意事項	11
周囲環境	11
本機を設置する	12
取付金具について	12
ディスプレイに接続する	13
ビデオウォールを構成時の周囲空間	14
信号源を本機に接続する	17
ビデオウォールの設定	22
4. 操作	24
電源を入れる	24
OSD 言語を変更する	24
画像の焼付きおよび残像を防ぐ	25
下記、周囲環境内でディスプレイを操作してください	25
静止画のみを長時間映さないでください。	25
IRFM をオンにしてください	25
オンスクリーンメニューを使用する	26
画像設定	28
ディスプレイ設定	33
オーディオ設定	34

基本設定	35
詳細設定	36
システム状態	40
ピクチャーインピクチャー (PIP) を使用する	41
PIP (ピクチャーインピクチャー) の位置を変更する	42
PIP サイズを変更する / 左右に並べて表示する PIP モードを選択する	42
メインの画像と PIP の画像を反対にする	42
5. メンテナンスとトラブルシューティング	43
メンテナンス	43
トラブルシューティング	43
6. 外部制御	45
シリアル通信	45
RS-232C 通信ポートを設定する	45
コマンド形式と応答形式	45
コマンドと応答の例	46
シリアルコマンド一覧	46
Video Wall Toolbox を使用する	51
インストールと初期設定	51
Video Wall Adjust 画面	52
Color Adjustment 画面	52
Remote Control 画面	53
キーロック設定	53
RS-232C Command 画面	54
個別赤外線 (IR) コードを使用する	57
赤外線 (IR) コマンドフォーマット	57
赤外線 (IR) 制御コード一覧	58
7. 仕様	59
仕様	59
サポートしているタイミング	61
外形寸法	63

2-1. ディスプレイ背面 / 側面図 (TD-X551M 背面図).....	3
2-2. 入出力端子およびコネクタ.....	5
2-3. リモコンユニット (CT-8039).....	7
3-1. ケーブルクランプ.....	13
3-2. 連結金具 固定イメージ.....	14
3-3. ビデオウォールを構成時の周囲空間.....	14
3-4. RS-232C コントロールシステムの接続.....	15
3-5. IR 拡張ケーブルを接続する場合.....	16
3-6. DisplayPort 信号を接続する場合.....	17
3-7. HDMI および DVI-D 信号を接続する場合.....	18
3-8. コンポーネントビデオ信号を接続する場合.....	19
3-9. RGBHV (VGA) 信号を接続する場合.....	20
3-10. コンポジットおよび S-Video 信号を接続する場合.....	21
3-11. 一般的な 3×3 ビデオウォールにする場合.....	22
3-12. ビデオウォールコントロール信号の配線.....	23
4-1. ディスプレイ OSD メニューの構造.....	26
4-2. 輝度調整に使われる一般的な PLUGE パターン.....	28
4-3. コントラストの調整に使用する一般的なグレーバーパターン.....	29
4-4. シャープネス調整に使われる一般的なテストパターン.....	30
4-5. 色の彩度と色相の調整に使われる一般的なカラーバーパターン.....	30
4-6. CIE 1931 色度図.....	32
6-1. Video Wall Toolbox : Video Wall Configuration 画面.....	51
6-2. Video Wall Toolbox : Video Wall Adjust 画面.....	52
6-3. Video Wall Toolbox : Color Adjustment 画面.....	52
6-4. Video Wall Toolbox : Remote Control 画面.....	53
6-5. Video Wall Toolbox : RS-232C Command 画面 (ASCII モード).....	54
6-6. Video Wall Toolbox : RS-232C Command 画面 (HEX モード).....	56
7-1. 外形寸法 (TD-X551M、TD-X551X).....	63



1. はじめに

1.1 本書について

この取付／取扱説明書では、本機の設置、設定、操作方法について説明します。

本書は、本機を設置する方や使用される方に、本機を正しく活用していただけるように構成されています。製品改良の実施やお客様からのフィードバックに対応して更新される場合があります。

表記の規則

表記の規則：本書では、記載されている情報や指示を分かりやすくするため、次の規則を用いています。

- リモコンおよび内蔵キーボードのボタンは、大文字の太文字で示します。(例：**EXIT** を押して前のメニューに戻ります。)
- コンピュータでの入力（入力するコマンド）や出力（画面に表示されるコマンドの結果）は等幅フォント（固定幅フォント）で表示されます。(例：アスペクト比をレターボックスに変更するには、
07 00 02 41 53 50 03 08 <Enter> と入力します。)
- 機能名の付いているキーはすべて、先頭の文字を大文字で記載し、太字＋角かっこで表記します。次のようなキーがあります。<Enter>、<Spacebar>、<Control>、<Esc>、<Tab>
- <Enter> は、キーボードの RETURN キーまたは ENTER キーを押すことを示します。

こうした表記規則に加え、次のように、重要な情報を示す場合に下線、太字、斜体を使用することがあります。



キャリッジリターンは、各コマンドまたは文字列の最後に**必ず**使用してください。

はじめに

1.2 説明、機能、利点

本機は狭額フロントベゼルを採用した液晶ディスプレイです。多彩な入出力端子を搭載し、複数台並べることで大画面を構成し、迫力ある映像を表示するビデオウォールを構成することが可能です。電子看板や、コントロールルーム用に最適です。

主な機能

本機は次のような機能を備えています。

- 1920×1080 のフルHD 解像度 (16:9 のアスペクト比)
- 高輝度バックライト (TD-X551M: 500cd/m² / TD-X551X: 800cd/m²)
- 高視野角 IPS 液晶搭載
- DisplayPort、HDMI / DVI (HDCP 機能付き) 入力
- 映像信号ディジーチェーン接続機能 (DVI: 最大 9 面、VGA: 最大 4 面)
- ダイレクト LED バックライト
- Video Wall Toolbox ソフトウェア (付属) により、最大 25 台のディスプレイを使った大きなビデオウォールを、Windows PC から簡単に設定可能
- 横向き / 縦向きの両方に対応

同梱品一覧

本機と同梱品は以下のとおりです。

- 液晶ディスプレイ本体
- リモコンユニットおよび単四形乾電池
- 電源コード
- DVI ケーブル
- RS-232C 通信ケーブル
- RS-485 通信ケーブル
- IR 拡張ケーブル
- Video Wall ToolBox インストール CD
- 取付・取扱説明書
- ケーブルクランプセット 2 組 (取付ベース 2 個、バンド 4 本、M4 ネジ 2 本)
- 壁掛け用 M 8 ネジ (出荷時、セット背面に取付) 4 個
- 連結金具セット 2 組 (金具 2 個、M4 ネジ 4 本)



電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。

本電源コードは本製品以外に使用しないでください。

2. コントロールと機能

2.1 各部の名称および機能

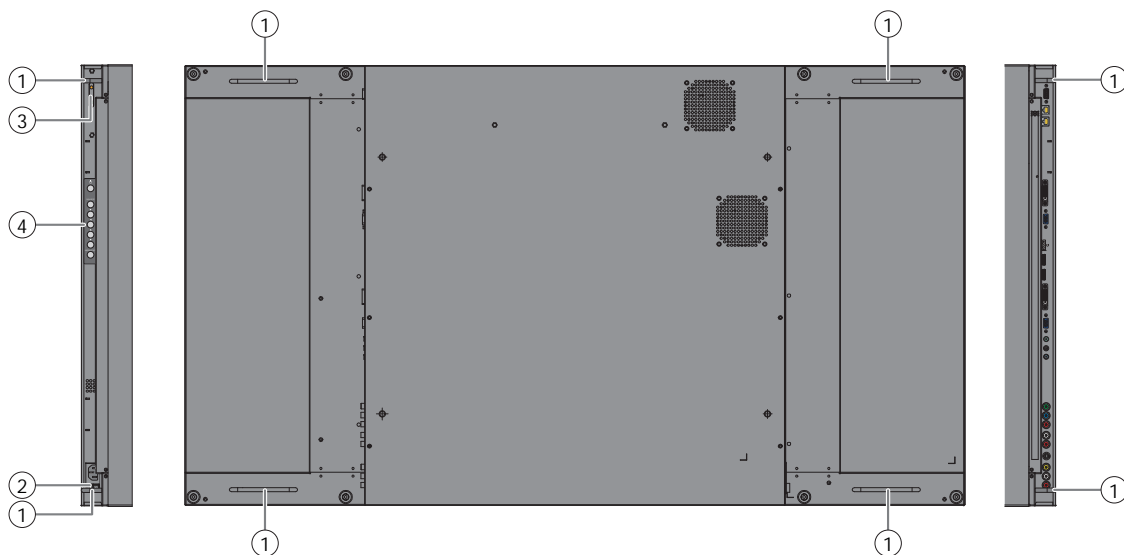


図 2-1. ディスプレイ背面 / 側面図 (TD-X551M 背面図)

- ① **取っ手**
ディスプレイを運ぶ際は必ず取っ手を持って運んでください。画面や外枠（フレーム）を触ったり、つかんだりしないでください。
- ② **主電源スイッチ**
本機の AC 電源をオン / オフします。
- ③ **電源 LED**
本機がスタンバイモードの場合は、オレンジ色に点灯します。入力信号がない場合は、オレンジ色で点滅します。主電源スイッチがオフの場合は、消灯します。

リモコン受信部
リモコンからの信号を受信します。

④ **操作ボタン**

本体の操作ボタンを使って、オンスクリーンディスプレイ（OSD）を操作できます。キーパッドでの操作方法は次のとおりです。

電源（オン/スタンバイ） (🔌)

1 回押すと、スタンバイモードからオンモードに切り替わります。もう 1 度押すと、スタンバイモードに戻ります。

SOURCE

SOURCE ボタンを繰り返し押し続けて入力信号を選択します（画面上にメニューは表示されません）。

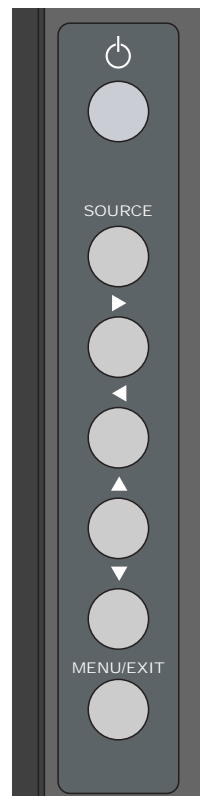
▶
メニューが画面上に表示されているときにこのボタンを押すと、本機リモコンユニットの右矢印（または ENTER）ボタンと同じ働きをします。

◀
メニューが画面上に表示されているときにこのボタンを押すと、本機リモコンユニットの左矢印ボタンと同じ働きをします。

▲ / ▼
メニューが画面上に表示されているときにこのボタンを押すと、それぞれ本機リモコンユニットの上矢印および下矢印ボタンと同じ働きをします。

MENU/EXIT

このボタンを押すと、オンスクリーンディスプレイ（OSD）コントロールが表示されたり、現在のメニューを終了して前の画面に戻ります。



2.2 入出力端子およびコネクタ

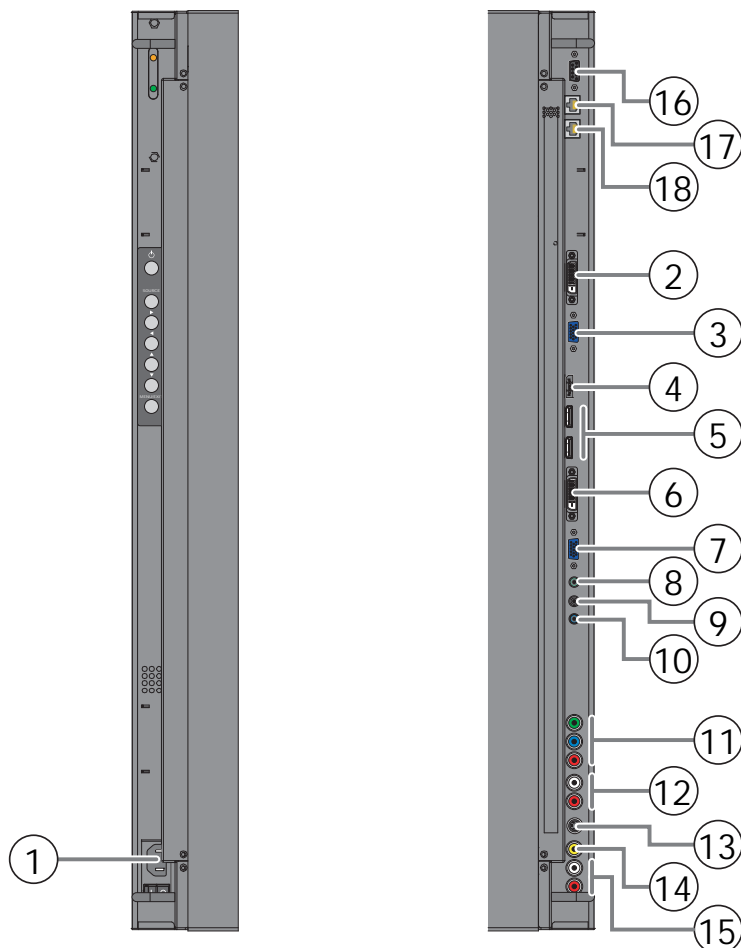


図 2-2. 入出力端子およびコネクタ

- ① **電源入力端子 (3 ピン、アース端子付き)**
付属の電源コードを接続します。
- ② **DVI-D 出力 (HDCP 対応)**
本機からデジチーチェーンで接続するディスプレイに、VESA 標準デジタルビデオ信号を出力します。
- ③ **VGA 出力 (15 ピン D-Sub)**
本機からデジチーチェーンで接続するディスプレイに、VESA 標準アナログビデオ信号を出力します。
- ④ **DisplayPort**
DisplayPort および DisplayPort-HDCP 対応の SDTV、EDTV または HDTV コンポーネントビデオ信号接続用 SD/HD 入力端子です。

-
- ⑤ **HDMI 1、HDMI 2**
HDMI または DVI 信号接続用 HDCP 対応デジタルビデオ入力端子（2 か所）です。
 - ⑥ **DVI-D 入力 (HDCP 対応)**
パソコンからの VESA 標準デジタルビデオ入力、または DVD プレイヤーや HD セットトップボックスからのデジタルビデオ入力用端子です。
 - ⑦ **VGA 入力 (15 ピン D-Sub)**
RGB 搭載のコンポーネントや、パソコンや外部 DTV デコーダ（BNC タイプ接続の場合はブレイクアウトケーブルが必要です）などのコンポーネント出力ジャックへの接続用端子です。
 - ⑧ **PC オーディオ入力**
パソコンからのオーディオ出力を入力する端子です。
 - ⑨ **リモコン入力端子**
本機に付属の IR 拡張ケーブル接続用端子です。
 - ⑩ **オーディオ出力**
外部電源スピーカーまたは外部オーディオレシーバー / アンプ接続用端子です。
 - ⑪ **コンポーネント**
標準または高解像度（最大 1080p）YPrPb コンポーネントビデオ入力用端子です。
 - ⑫ **コンポーネントオーディオ**
コンポーネントビデオ信号からのステレオ音声入力用端子です。
 - ⑬ **S-Video**
標準 S-Video 入力端子です。ゲーム機、Super VHS（S-VHS）、VCR またはその他の S-Video 信号の接続用端子です。



コンポジットと S-Video 入力の両方の端子が信号源に接続されている場合、S-Video 入力が優先されます。

- ⑭ **ビデオ**
標準コンポジット入力端子です。ゲーム機またはその他のコンポジットビデオ信号への接続用です。
- ⑮ **ビデオ /S-Video 音声**
コンポジットまたは S-Video 信号からのステレオ音声入力端子です。
- ⑯ **RS-232C 入力**
D-sub 9 ピンコネクタ（メス）です。コンピュータや、その他機器の RS-232C 出力端子を接続します。
- ⑰ **RS485 入力**
RJ-45 8 ピンコネクタ（メス）です。ディスプレイのマルチ設置時の制御リンク接続に使用します。（入力）
- ⑱ **RS485 出力**
RJ-45 8 ピンコネクタ（メス）です。ディスプレイのマルチ設置時の制御リンク接続に使用します。（出力）



2.3 リモコンユニット

図 2-3 は、本機リモコンの図です。表 2-1 で機能を説明します。



図 2-3. リモコンユニット (CT-8039)

表 2-1. リモコンのボタンの説明

	ラベル	説明
1		本機の電源オン/スタンバイを行います。
2	INFO	入力信号および解像度情報を表示します。
3	VGA	PC RGB 信号を選択します。
	DVI	PC DVI 信号を選択します。
	HDMI1	HDMI 信号 1 を選択します。
	COMP	コンポーネント信号を選択します。
	AV	コンポジットビデオ信号を選択します。
	HDMI2	HDMI 入力 2 を選択します。
4	P-POSITION	PIP (ピクチャーインピクチャー) の位置を選択します。
	DISPLAYPORT	DisplayPort 入力が選択されます。
	PIP	PIP 機能のオン / オフを切り替えます。
	S-V	S-Video 信号を選択します。
5	P-SOURCE	小画面用のサブ入力信号を選択します。
6	SWAP	メインに表示する画像と PIP で表示する画像を反対にします。
7	MENU	本機の画面にオンスクリーンメニューを表示します。メニューシステムが既に表示されている場合にこのボタンを押すと、前のサブメニューが選択されます。
		サブメニューや設定の選択を行います。
8	ENTER	ハイライトされている選択肢を決定します。
9	EXIT	メニューシステムを閉じます。
10	SCALING	アスペクト比を次の順番で切り替えます。全画面、ネイティブ、レターボックス、サイドパネル (ピラーボックス)
	FREEZE	現在表示されている映像を静止させます。
	MUTE	音声をミュートします。(音声出力端子)
	BRIGHT	輝度を調整します。
	CONTRAST	コントラストを調整します。
	AUTO	VGA 信号を自動調整します。
	SOURCE	各入力信号を順番に切り替えます。
	VOLUME-	音量を下げます。(音声出力端子)
VOLUME+	音量を上げます。(音声出力端子)	

3. 設置



設置は販売店にご相談いただくか、工事専門業者にご依頼ください。

3.1 リモコン

乾電池をリモコンに取り付ける： 単四形乾電池 R03 を 2 個使用

1. カバーのツメを押し下げ、カバーを取り外します。
2. 極性表示⊕/⊖の通り、付属の乾電池を挿入します。
3. カバー下部のツメを開口部に挿入し、カバーがカチッとハマるまで押します。

乾電池についての注意

- 間違ったタイプの電池を使用すると破裂のおそれがあります。
- 使用済みの電池は説明書に従って処分してください。
- 乾電池の極性を正しく合わせて挿入するようにしてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を混在させたり、種類の違う乾電池と一緒に使用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池の電解液が漏れてリモコンが損傷しないよう、乾電池を取り外してください。
- 直射日光、火の近くのような過度に高温になる場所に乾電池を放置しないでください。

リモコン操作についての注意

- リモコンの赤外線送信部と本機に取り付けた赤外線受信部 (IR 拡張ケーブル) の間に、赤外線を妨げる障害物を置かないでください。
- リモコンの有効範囲が狭くなったり、動作しなくなった場合は 2 個とも新しい乾電池に交換してください。
- リモコンは、センサー部分に明るい日光や蛍光灯の光が直接当たると、誤動作することがあります。
- 周囲環境によっては、リモコンの動作を妨げることがあります。そのような場合は、リモコンをリモコン受信部に近付けてもう 1 度操作してください。

リモコンのロックとロック解除

不正にディスプレイの設定が変更されないよう、リモコンのボタンをロックすることができます。ロックするためには、**ENTER、ENTER、EXIT、EXIT、ENTER** および **EXIT** を続けて押します。ロックを解除するときは、同じ順序でボタンを押します。

3.2 簡単な設置手順

表 3-1 で、本機設置手順を簡単に説明します。詳しい手順については、以降の章で説明します。

表 3-1. 設置の概要

手順番号	手順	詳細の参照先
1	本機を設置する	12
2	電源及び制御用ケーブルを本機に接続する。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源ケーブル • RS-232C ケーブル • IR 拡張ケーブル 	15
3	信号源を本機に接続する	17
4	ビデオウォールとして設置する場合、映像信号ケーブルと制御用ケーブル (RS-485) をディジーチェーンにて接続する。	22
5	本機の電源を入れる	24
6	OSD の言語を選択する。	24
7	本機の設定。 各入力 で次の調整をする <ul style="list-style-type: none"> • アスペクト比 • 輝度 • コントラスト • 色温度とホワイトバランス • カラーレベル • 色合い • 入力位置 	28

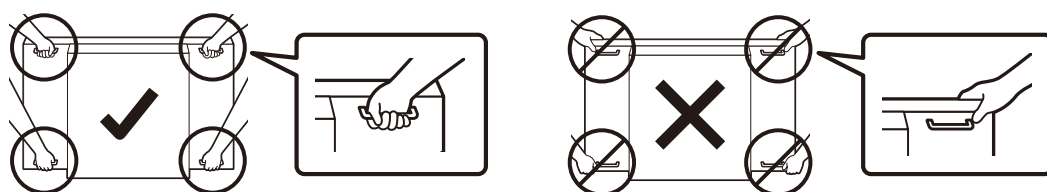
3.3 設置時の注意事項

適切な視聴環境を得るためには、本機を正しく設置する必要があります。本機を一時的に設置する場合でも、常設する場合でも、次の事項を考慮して、画面表示が正しく行われるように設定してください。

取り扱い時の注意事項

液晶パネル部は衝撃に弱く、不適切な取り扱いで損傷を与える場合があります。液晶パネルの損傷を防ぐため、ディスプレイを持ち上げたり移動する場合は、下記取り扱い時の注意事項を守ってください。不適切な取り扱いでの損傷は保証の対象外となります。

- 必ず、本機の背面にある取っ手を持ってください。ディスプレイの画面や外枠（フレーム）を持たないでください。



- 本機を移動したり持ち上げたりするときは、2人以上で作業してください。
- 本機に対し、ひねったり曲げたりするような圧力をかけないでください。
- 本機の背面の端にある取っ手を持って支え、地面から水平な高さに保ってください。
- 本機を一時的に作業台等に置く場合、必ずクッションを置いて水平においてください。この状態で片側を10°以上持ち上げるようなことはしないでください。

周囲環境

- 周囲温度を一定に保ち、40℃を超えないようにしてください。
- 本機を直射日光が当たる場所、または湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
- 本機を暖房の吹き出し口や換気口に近づけないでください。
- 本機を振動、衝撃が加わる場所には設置しないでください。

3.4 本機を設置する

本機は壁に取り付けることができます。

本機を壁に取り付ける場合は、壁取付用金具が金具付属の手順書に従って取り付けられていることを確認してください。

本機と取付金具の総重量を恒久的に十分保持できる、強度のある場所（壁）に取り付けてください。耐荷重が不足する場合は、取付場所（壁）の補強が必要です。

取付金具について

市販品は必ず VESA 基準に準拠した取付金具で、本機を支えるのに十分な強度のものを選んでください。金具の一部が本機の通風口をふさがないようにご注意ください。

安全な設置方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書を参照してください。

本機への金具の取付には、M 8 座金付ねじ（長さは取付金具の板厚 +10 ~ 12mm）を使用し、ゆるまないようにしっかりと締めてください。

取付穴は背面に4個あります。取付の際は上下左右均等に取り付けてください。本機の取付面と取付金具との間には隙間がないようにしてください。



注意

- ビデオウォール（複数面）設置する場合、外枠（フレーム）間の隙間は、1 mm 以下（接触しないこと）に設置してください。
- ビデオウォール構成時は付属の連結金具をお使いください。
- ビデオウォール（複数面）設置する場合、外枠（フレーム）コーナーに貼付している黒色テープを損傷させないように注意してください。



メモ

補強は、工事専門業者に作業を依頼して実施してください。

本機は横向き / 縦向き両方に対応しております。

背面の矢印マークが上側になるように、下図の方向で設置してください。



3.5 ディ스플레이に接続する

次の手順に従って、本機に電源コード、制御用ケーブル、映像入力ケーブルを接続します。

電源に接続する

- 接続の前に本体の主電源が「切」になっていることを確認してください。
- できるだけ本機に近い電源コンセントを使い、すぐに手が届くようにしてください。
- 必ず接地接続を行ってください。
- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

使用する機器を接続する際は次のことを守ってください。

- 接続の前に、すべての機器の電源を切ってください。
- それぞれの信号に合った信号ケーブルを使ってください。
- 最良の性能を得、ケーブルノイズを最小にするため、2つの機器を接続するために必要最低限の長さで高品質のケーブルを使用してください（2メートルの長さのケーブルで足りる箇所に6メートルのケーブルは使わないでください）。
- ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。固定用のネジがあるコネクタの場合は、固定用のネジを締めてください。
- 付属のケーブルクランプにて電源コード及び信号ケーブルを固定してください。

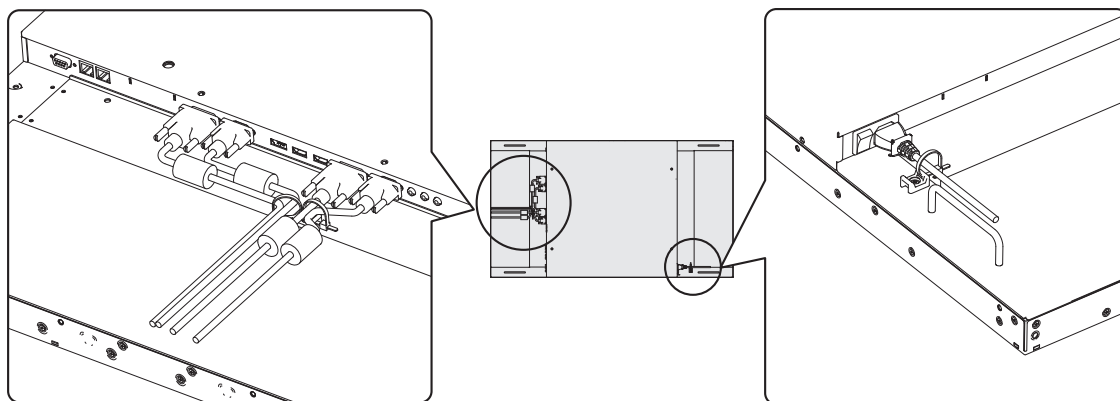


図 3-1. ケーブルクランプ

- マルチディスプレイ構成時は付属の連結金具にて図 3-2 のようにディスプレイを固定してください。

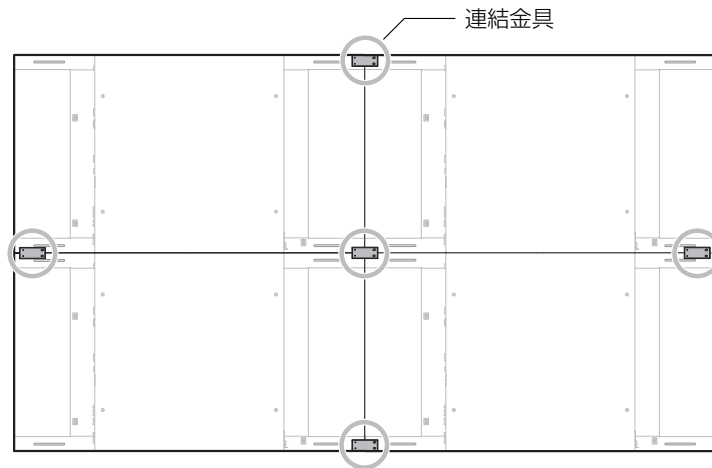


図 3-2. 連結金具 固定イメージ

ビデオウォールを構成時の周囲空間

ビデオウォール設置する場合、周囲温度 40℃を超えないよう、環境に配慮してください。

設置場所や状態によって、本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。

十分にスペースをとることによって熱が分散し、適切な動作温度を維持することができます。

図 3-3 のように、ディスプレイ周囲に対しては十分なスペースを取ってください。

背面に対しては、DC ファンの給気孔を塞ぐことが無いように、ディスプレイと壁の間を 17.5mm 以上空けてください。

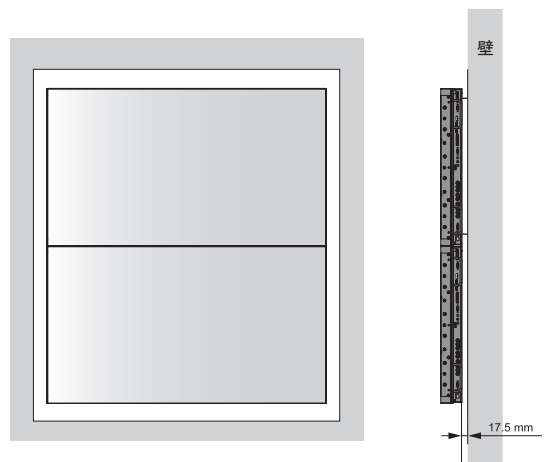


図 3-3. ビデオウォールを構成時の周囲空間

コントロールシステムまたは PC を接続する場合： 図 3-4 のように、9 ピン（オス）コネクタの RS-232C ストレートスルーケーブルを使って、PC またはホームシアターコントロール / オートメーションシステム（ある場合）を本機の RS-232C ポートに接続します。

この接続について詳しくは、「**外部制御**」45 ページを参照してください。

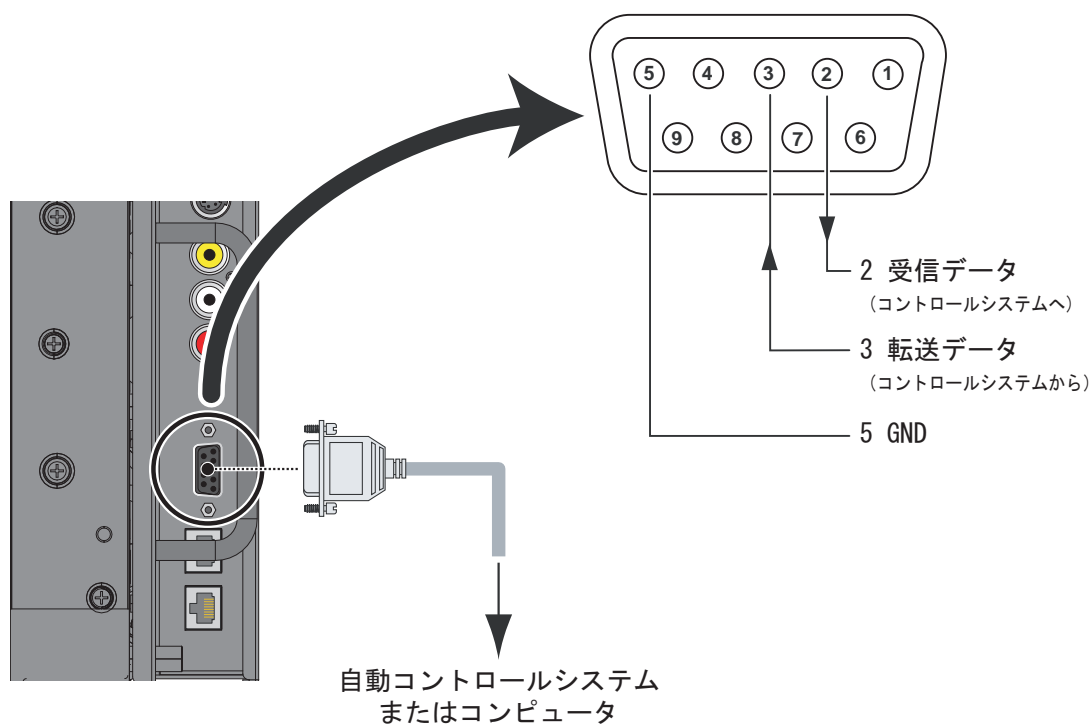


図 3-4. RS-232C コントロールシステムの接続

IR 拡張ケーブルを接続する場合：付属の IR 拡張ケーブルを図 3-5 のようにリモコン入力端子に接続します。

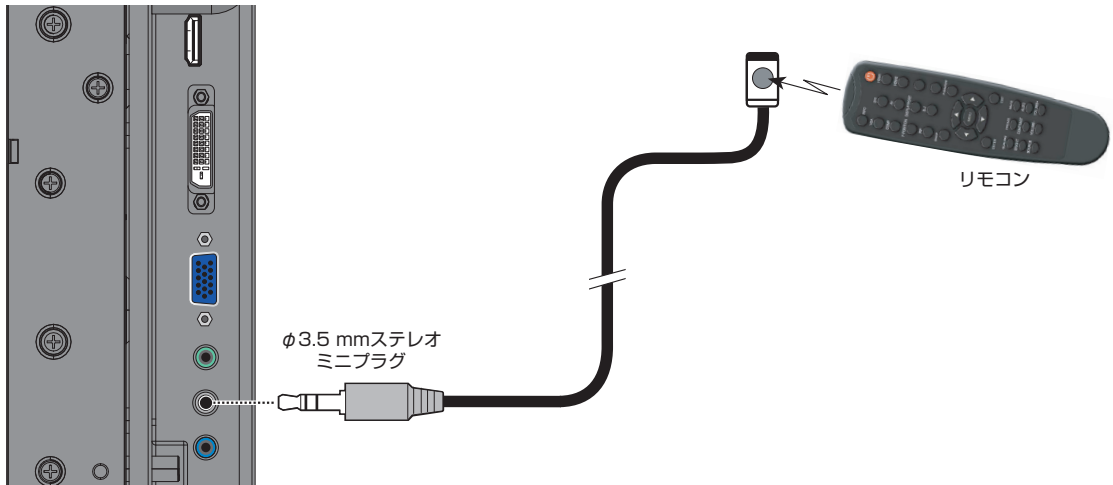


図 3-5. IR 拡張ケーブルを接続する場合



ビデオウォール構成時の IR 拡張ケーブル使用については、IR モード制御の項（39 ページ）を参照してください。

信号源を本機に接続する

ビデオ信号を、以降で説明するように本機に接続します。

DisplayPort 信号を接続する場合： 図 3-6 を参照してください。

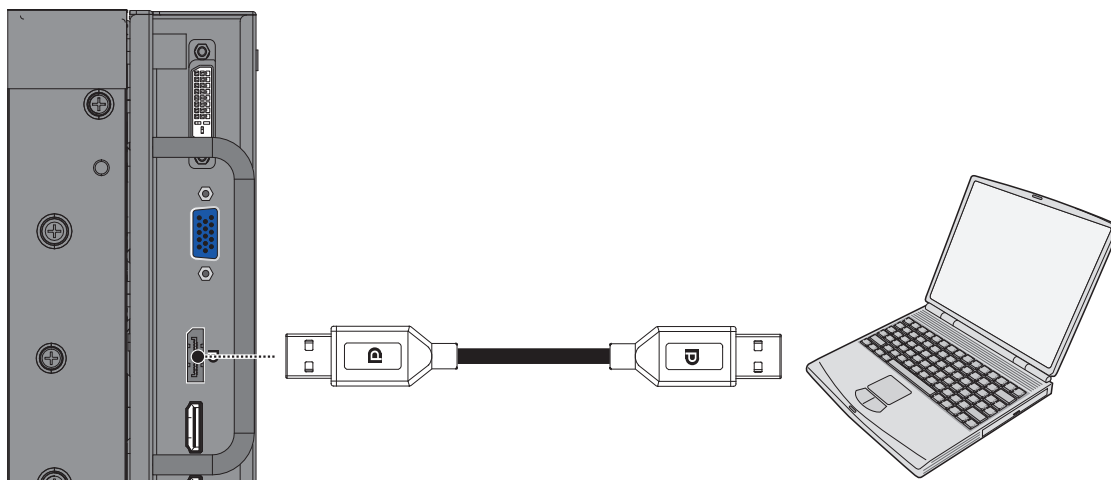


図 3-6. DisplayPort 信号を接続する場合

HDMI および DVI-D 信号を接続する場合： 図 3-7 を参照してください。

ヒント

HDMI 入力を使用することをお勧めします。HDMI 入力は、信号源からディスプレイまでの信号経路全体で信号がデジタル領域で伝送されるため、本機で最も高画質を得ることができる信号接続方法です。

メモ

コンピュータに DVI 出力端子がある場合、この入力端子に接続することができます。対応する入力信号のリストは「**サポートしているタイミング**」61 ページを参照してください。

本機は、VESA Display Data Channel (DDC) 規格をサポートしています。この規格は「プラグアンドプレイ」機能を備えています。ディスプレイと VESA DDC 対応コンピュータが、設定要件をやり取りし、素早く簡単に設定できます。

接続したらすぐに使えるようにするために、ディスプレイの電源を入れてから接続したコンピュータの電源を入れてください。

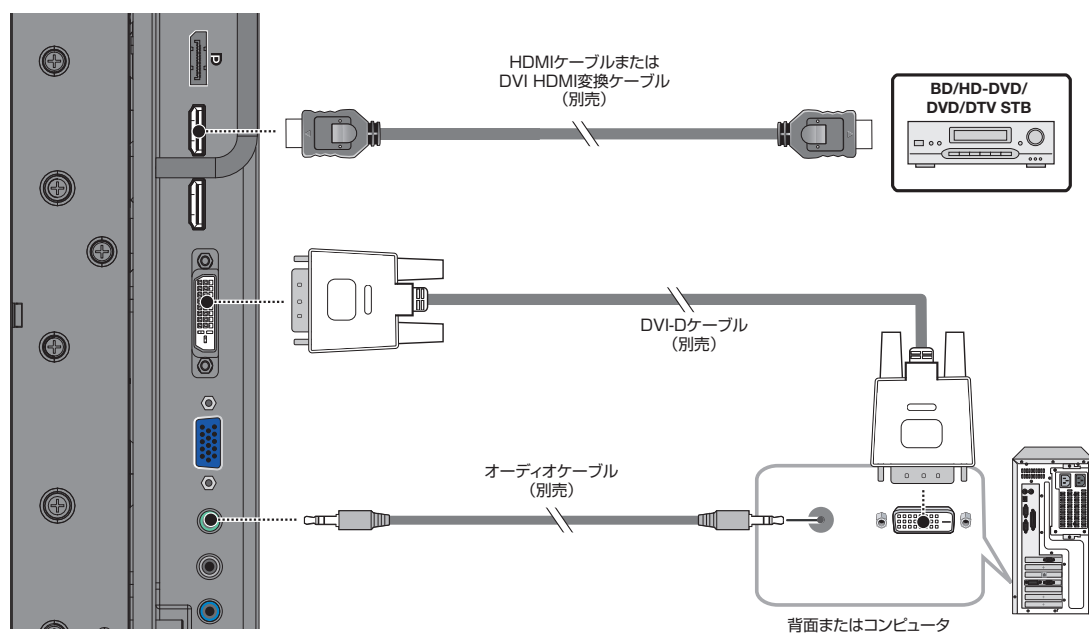


図 3-7. HDMI および DVI-D 信号を接続する場合

メモ

HDMI ケーブル使用時は HDMI 認証ロゴのついたものをご使用ください。特に、Blu-ray や HD-DVD 等の高解像度のコンテンツを接続の際は High Speed HDMI ケーブルを使用してください。

コンポーネントビデオ信号を接続する場合： コンポーネントビデオ信号は、図 3-8 のようにコンポーネント入力端子に接続します。

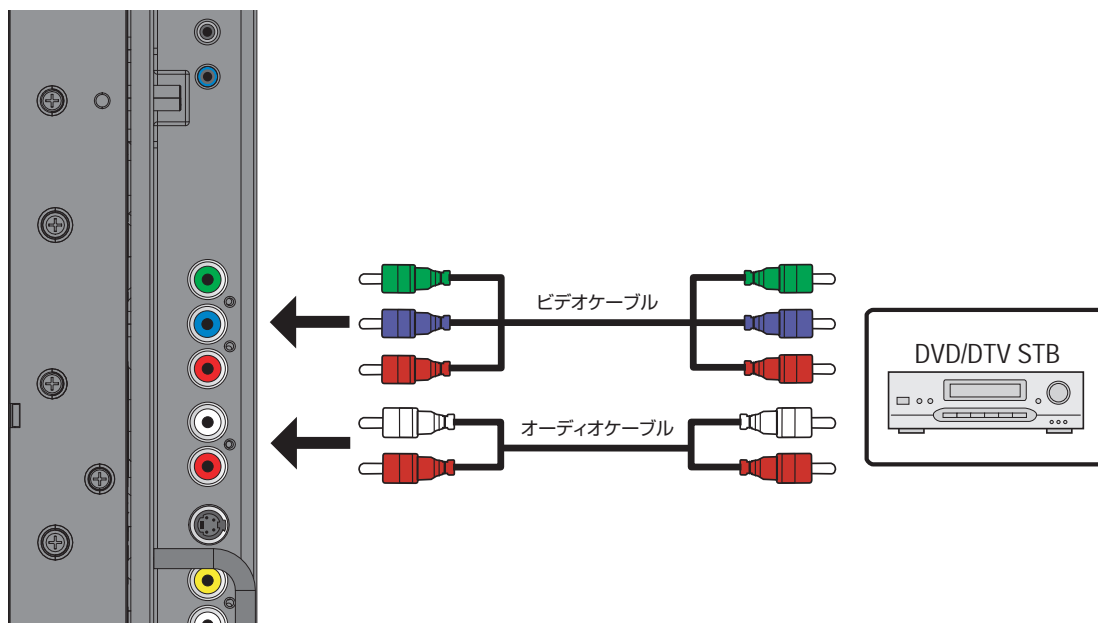


図 3-8. コンポーネントビデオ信号を接続する場合

RGBHV (VGA) 信号を接続する場合： パソコンまたはその他の RGB 信号は、図 3-9 のように VGA 入力端子に接続します。



対応する入力信号のリストは「サポートしているタイミング」61 ページを参照してください。

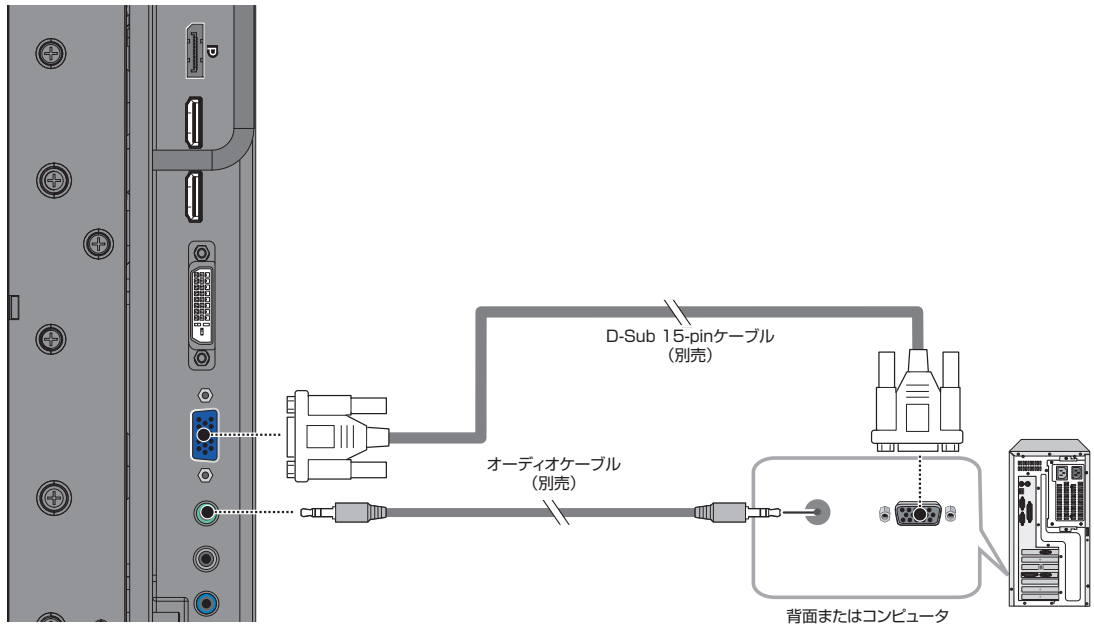


図 3-9. RGBHV (VGA) 信号を接続する場合

コンポジットおよび S-Video 信号を接続する場合：図 3-10 を参照してください。



メモ コンポジットと S-Video 入力の両方の端子が信号源に接続されている場合、S-Video 入力
が優先されます。

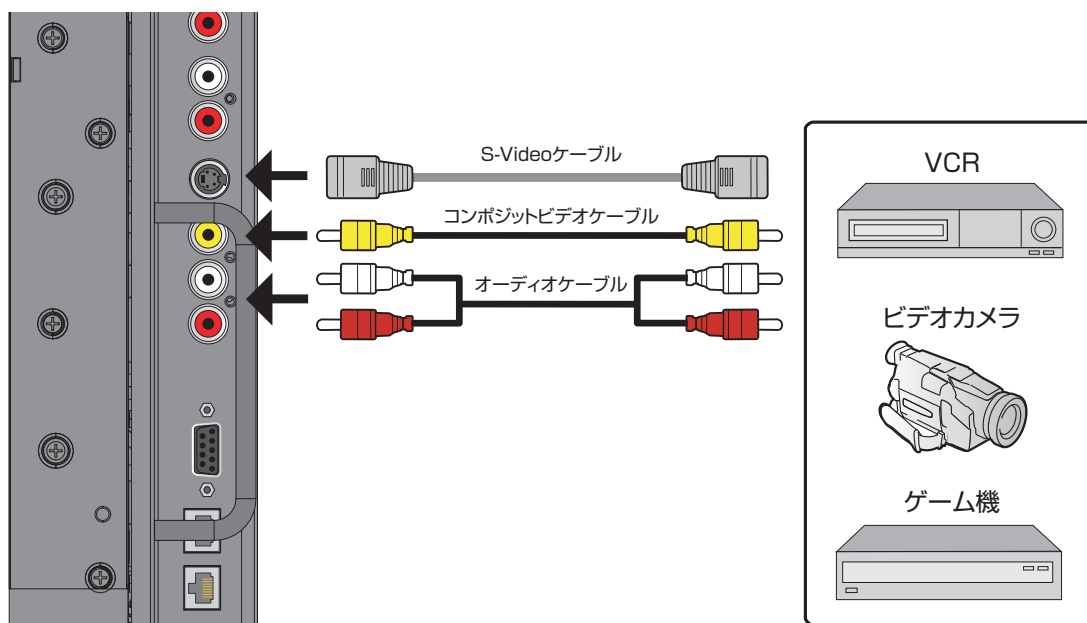


図 3-10.コンポジットおよび S-Video 信号を接続する場合

3.6 ビデオウォールの設定

ビデオウォールの最大可能サイズは、次のようにビデオ信号の種類によって異なります。

- 単一のデジタル信号を DVI コネクタ（パススルー）で使用した場合の最大ビデオウォール構成：9 台
- 単一のデジタル信号を VGA コネクタ（パススルー）で使用した場合の最大ビデオウォール構成：4 台
- 複数信号を外部分配器または分配増幅器で使用した場合の最大ビデオウォール数：100 台

10x10 列（ディスプレイ 100 台）の単一画面の拡大表示ができます。（39 ページ マトリクス X、マトリクス Y の設定参照）

以下は、3×3 列（ディスプレイ 9 台）の例です。



図 3-11.一般的な 3×3 ビデオウォールにする場合

RS-232C の配線：外部 RS-232C コントローラーは、左上にあるディスプレイに接続してください（下図参照）。残りのディスプレイは、RS-485 コネクタを介して、付属の RJ45 ケーブルで以下の順に接続してください。



注意

OSD の詳細メニューを使用して、スリープからウエークアップ機能を VGA のみから、VGA、デジタル、RS-232C に設定してください。

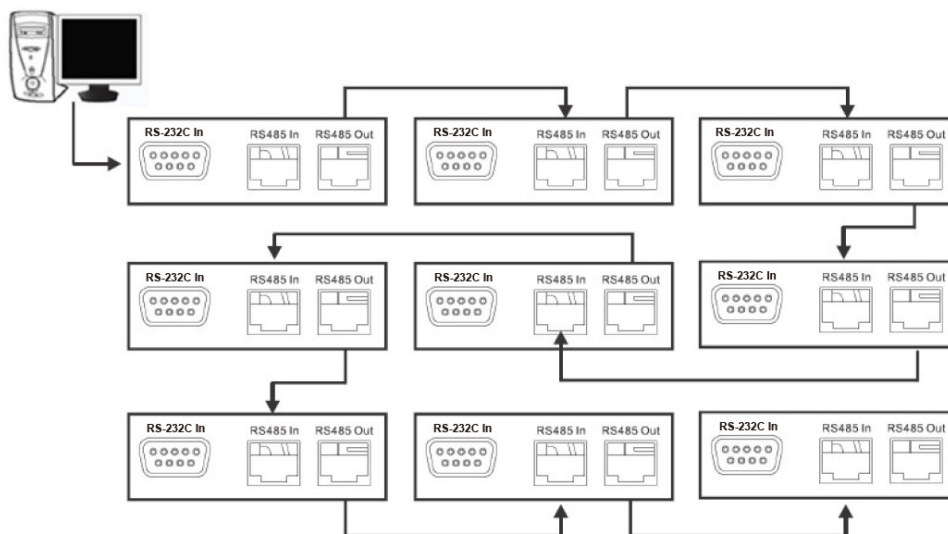




図 3-12.ビデオウォールコントロール信号の配線

4. 操作

4.1 電源を入れる

1. 信号源の電源を入れます。本体の主電源スイッチを「切」にします。
2. 付属の電源コードを、本機の AC 入力端子（3pin アース端子付き）に挿入します。図 2-2（5 ページ）を参照してください。
3. 電源コードのプラグを AC 電源に接続します。（AC100V 50Hz/60Hz）
4. 本機の横側にある主電源スイッチを入れます。電源表示 LED がオレンジに点灯し、本機が「スタンバイ」モードにあることを示します。
5. リモコンの電源ボタン（）（または、本体操作ボタンの電源ボタン（））を押してディスプレイの電源を入れます。
6. ウォームアップが終わると、ディスプレイに画像が表示されます。



4.2 OSD 言語を変更する

本機 OSD 言語の初期設定は英語ですが、簡体字中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、日本語、韓国語でメニューを表示することができます。OSD の言語の変更手順は以下のとおりです。

1. **MENU** を押します。
2. メインメニューから、基本設定を選択します。
3. 基本設定メニューから、**OSD 言語**を選択します。
4. ◀と▶を押して言語を選択し、**ENTER** を押します。変更内容はすぐに反映されます。

4.3 画像の焼付きおよび残像を防ぐ



注意

静止画を長時間表示しないでください。長時間表示すると画像の「焼付き」が起きたり、画像の「残像」が残ることがあります。これは、保証対象外となります。

長期間駆動することによる「焼付き」および「残像」を防ぐために、下記条件でご使用いただくことを推奨します。

下記、周囲環境内でディスプレイを操作してください

- 動作温度：5℃～35℃
- 相対湿度：75%以下

静止画のみを長時間映さないでください。

- できる限り動画を表示してください。
- 静止した（停止している）ビデオ画像を継続して表示しないように、スクリーンセーバーを使用するようにしてください。
- 使用しない時は本機の電源を切るか、リアルタイムクロック機能（「リアルタイムクロック」36ページ参照）を使って、1日であらかじめ決めた時間に自動的に電源が切れるようにしてください。

IRFM をオンにしてください

画像の残像が残らないようにするために、IRFM（「詳細設定」36ページ参照）を**オン**に設定してください。

4.4 オンスクリーンメニューを使用する

オンスクリーンメニューを表示するためには、リモコン（「7 ページの図 2-3」）または本体操作ボタン（3 ページの図 2-1）の **MENU** を押します。

サブメニューを選択するには、▲ボタンと▼ボタンを使ってサブメニューを強調表示します。次に▶を押すとサブメニューが表示されます。

メニュー項目を選択するには、▲ボタンと▼ボタンを使ってサブメニューを強調表示します。次に、◀または▶を押して設定を調整し **ENTER** を押します。

OSD メニューは、図 4-1 のように階層で示されます。選択した入力信号と信号特性により、使用できないメニューオプションがあることがあります。

画像設定	スキーム	ユーザー、Vivid、Cinema、sRGB、Sport	
	輝度	0、1、2 ... 50 ...99、100	
	コントラスト	0、1、2 ... 12 ...23、24	
	シャープネス	0、1、2 ... 50 ...99、100	
	彩度	0、1、2 ... 50 ...99、100	
	色相	標準、節約、ユーザー、明るい高	
	バックライトモード	0、1、2 ... 80 ...99、100	
	バックライト	ガンマ	
	色温度とガンマ	色温度	3200K、3300K ... 9300k ...9500K、9600K またはユーザー
		赤 / 緑 / 青ゲイン	128、129、130 ... 256 ...382、383
赤 / 緑 / 青オフセット		-50、-49、-48 ... 0 ...48、49、50 ...	
ディスプレイ設定	メイン	アスペクト比	全画面 、ネイティブ、レターボックス、ピアボックス
		ズーム	0、1、2 ...9、10
		自動スキャン	オン または オフ
		入力信号を選択する	VGA、HDMI1、HDMI2、DVI、DisplayPort、S-Video、Video、Component
	PIP	PIP モード	オフ 、大きい PIP、中程度の PIP、小さい PIP、左右に並べて表示
		PIP 位置	右下 、右上、左上、左下
		アスペクト比	全画面 、レターボックス、ピアボックス
		左右に並べて表示 スケール	ズームイン、ズームアウト、メイン、PIP
		自動スキャン	オン または オフ
		入力信号を選択する	VGA、HDMI1、HDMI2、DVI、DisplayPort、S-Video、 Video 、Component
オーディオ設定	音量	0、1、2 ... 50 ...99、100	
	低音		
	高音	0、1、2 ... 10 ...19、20	
	バランス		
	HDMI オーディオ入力	HDMI 、PC	
	DP オーディオ入力	DisplayPort 、PC	
基本設定	OSD 透明	0、1、2 ...99、100	
	OSD 場所	上、下、左、右	
	OSD ズーム	オフ 、 オン	
	OSD 回転	風景 、人物	
	OSD 言語	英語 、簡体字中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、日本語、韓国語	
	OSD タイムアウト	5、6、7 ... 30 ...119、120 秒	
	スリープタイマー	オフ 、15 分、30 分、60 分、90 分、120 分	
	無信号タイマー	1 分、2 分、3 分、 5 分 、10 分、20 分、30 分	
	電源 LED	オン または オフ	
	リアルタイムクロック	現在の時間	
タイマーモード		ユーザー 、全部同じ設定を適用する、稼働日に同じ設定を適用する	
電源オンタイマー		無効 または 有効	
	電源オフタイマー		

メモ：デフォルト設定は**太字**で示しています。

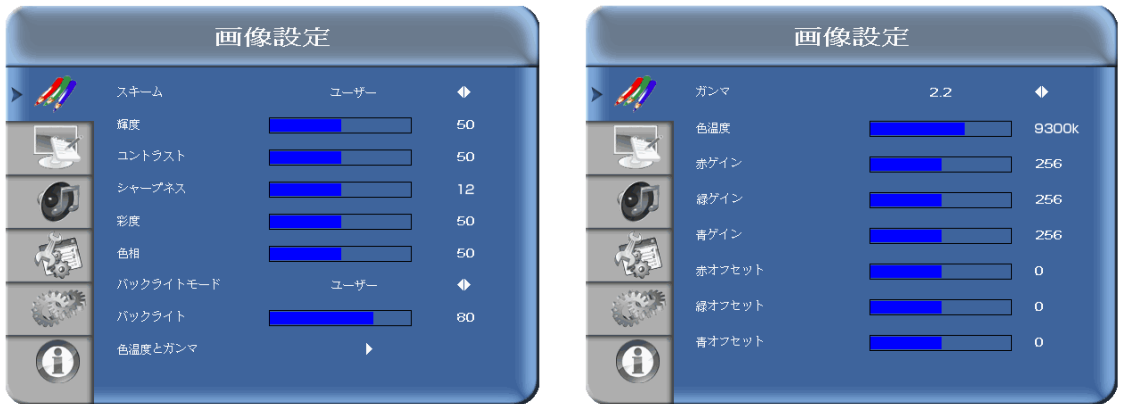
図 4-1. ディスプレイ OSD メニューの構造

詳細設定	自動調整	いいえまたははい		
	画像位置 (VGA モード)	上、下、左、右		
	フェーズ (VGA モード)	0、1、2 ...63		
	クロック (VGA モード)	0、1、2 ...100		
	VGA ADC 設定	User ADC Calibration		
	肌色 (ビデオモード)	オフ、Low、Medium、High		
	IRFM	オフ、標準、ビデオオール		
	ポーレート	115200、38400、19200、9600		
	スマートライトコントロール	ローカルティミングまたはオフ		
	スリープからウェイクアップ	VGA のみ、VGA、デジタル、RS-232C、スリープなし		
	温度&ファンの状態	温度 (C、° F) ファン 1 の速度 / ファン 2 の速度		
	マルチディスプレイ制御	モニター ID	1、2、3 ...24、25	
		ビデオオール	はいまたはいいえ	
		DVI 補償	はいまたはいいえ	
		電源オン遅延	0、0.05、0.10、0.15、0.20 ...29.90、29.95、30 秒	
		フレーム	はいまたはいいえ	
		マトリクス X/ マトリクス Y デビジョン X/ デビジョン Y	1、2、3、4、5	
IR モード	オフ、ターゲット、オール			
受信者 ID	1、2、3、4 ...97、98、99、100			
自動ビデオオールセット	左下、左上			
工場出荷時設定リセット	はいまたはいいえ			
システム状態	チャンネル情報	メイン PIP	アクティブな入力信号 / 信号解像度とリフレッシュレート	
	合計時間			
	ファームウェアバージョン			

メモ：デフォルト設定は**太字**で示しています。

図 4-1. ディスプレイ OSD メニューの構造 (続き)

画像設定



画像設定メニューを使用して、各ディスプレイ入力を校正して最適な画質を得られるようにします。

テストパターンに使用する信号を入力し、校正するため、次の操作を行います。**以下の順に調整を実行してください。**

スキーム：画像設定メニューからスキームを選択し、◀または▶を押して4つのプリセット画質（Vivid、Cinema、sRGB、Sport）から、表示する内容に応じて選択します。このプリセットを選択すると、他の画像設定も最適な画質になるように自動的に調整されます。また、ユーザーを選択すると、輝度やコントラスト、その他の設定を手動で変更できます。

輝度：外部テストパターン信号源の中から、PLUGEパターンを選択します（PLUGEとは、「Picture Line-Up Generation Equipment」の頭文字をとったものです）。図4-2は、一般的なPLUGEパターンの例です。

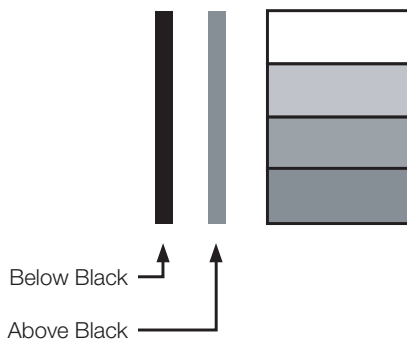


図4-2. 輝度調整に使われる一般的なPLUGEパターン

PLUGEパターンにはいろいろな種類がありますが、通常は黒、白、グレーを組み合わせた領域と黒い背景から構成されています。上の例には、2本の縦のバーと4つの影の付いた四角があります。

画像設定メニューから輝度を選択して◀または▶を押し、次のようになるよう輝度を調整します。

- 最も暗い色のバーが背景に溶け込んでいる。
- 暗いグレーの領域が何とか視認できる。
- 薄いグレーの領域がはっきりと視認できる。
- 白い領域が混ざり気のない白色として十分なレベルの表示である。
- 画像が、黒、グレー、白だけで他に色が付いていない。

コントラスト：外部テストパターン信号で、図 4-3 のような、濃いグレーパターンから薄いグレーパターンまでが段階的に表示されているパターンを選択します。

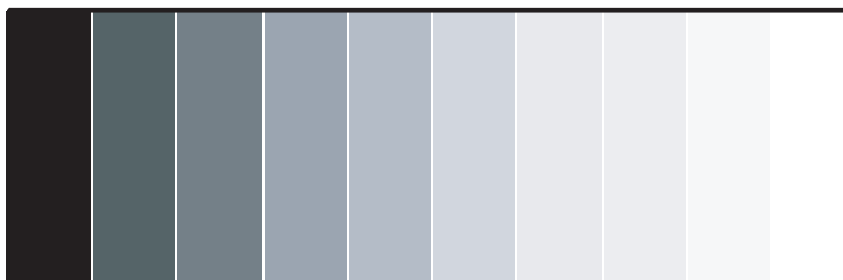


図 4-3. コントラストの調整に使用する一般的なグレーバーパターン

コントラストを選択して◀または▶を押し、白い四角形が大きくなり始める点までコントラストを調整します。



メモ

輝度とコントラストの調整は相互に影響します。片方を変更したら、もう片方も微調整をし、最適な設定にする必要があります。

シャープネス：「シャープネス」は、画像の鮮明さを調整します。シャープネスを調整するには、画像設定メニューからシャープネスを選択します。テストパターンの外部信号源で、図 4-4 のようなパターンを選択します。必要に応じて、黒からグレーに移る箇所を囲む白い境界線と、上下にある「スweep」パターンの異なる太さの線の間の白に注目します。シャープネスの設定を低くすると、やわらかい映像になり、設定を高くすると、くっきりした映像になります。

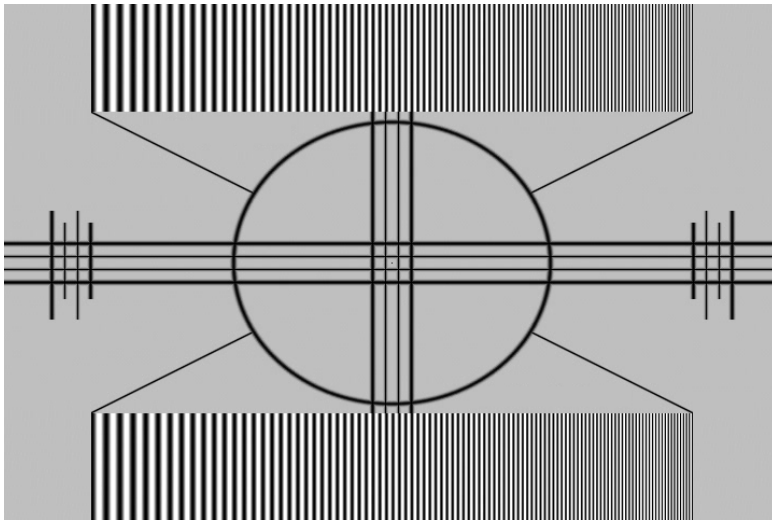


図 4-4. シャープネス調整に使われる一般的なテストパターン

彩度：外部テストパターン信号源で、図 4-5 のようなカラーバーパターンを選択します。

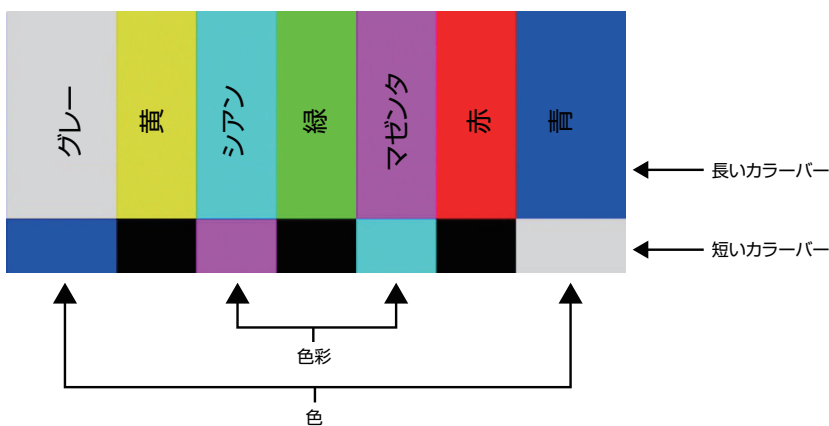
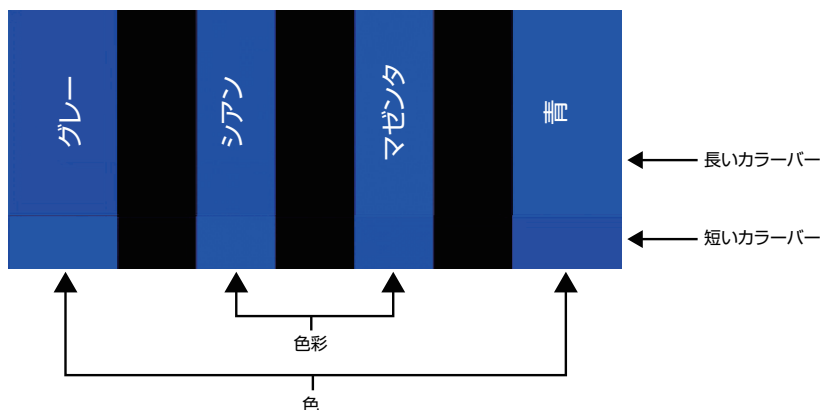


図 4-5. 色の彩度と色相の調整に使われる一般的なカラーバーパターン

1. リモコンまたはキーボードの **MENU** を押します。
2. 画像設定メニューから、彩度を選択します。
3. 青フィルターでカラーバーパターンを表示し、最も外側のカラーバー（グレーと青）が青の単色に見えるまで、色の彩度を調整します。



色相：色相を小さくすると、画像に赤味がかかります。大きくすると、画像に緑味がかかります。

色相を調整するには、彩度を調整する青フィルターを使用してカラーバーパターンを表示します（前の章「彩度」を参照）。

画像設定メニューから色相を選択し、◀または▶を押して、シアンとマゼンタのカラーバー（緑のバーの両側）が青の単色に見えるまで調整します。



メモ 輝度やコントラストの調整と同様、色と色合いの調整も相互に影響します。片方を変更したら、もう片方も微調整をし、最適な設定にしてください。

バックライトモード：バックライトの明るさを4つのモード（標準、節約、ユーザー、明るさ高）から選択できます。

ユーザーを選択すると、バックライト輝度を0～100%まで手動で設定できます。

バックライト：バックライトコントロールで、表示される画像の見た目の明るさを変更します。

ガンマ：画像設定メニューからガンマを選択し、2.2（既定値）またはオフを選択します。

色温度：画像設定メニューから色温度を選択して画面全体の色を調整します。

「色座標」とは「色座標」とは、x 座標と y 座標の組み合わせで、標準 CIE 色度図（図 4-6）上での色の位置を定義するものです（CIE は「Commission Internationale de l'Éclairage」（国際照明委員会）で、色の測定および管理の規格を制定する組織です）。

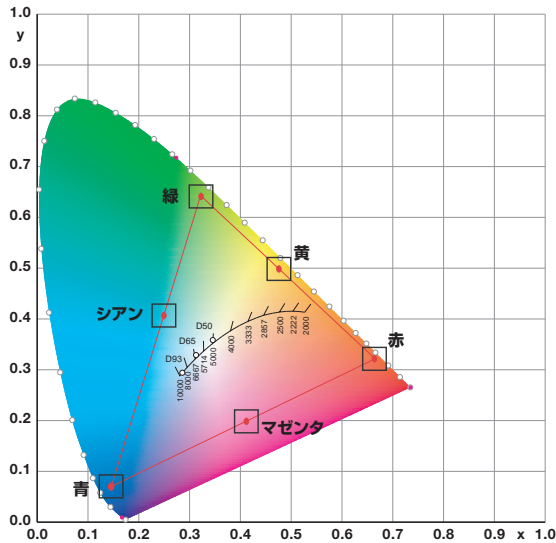


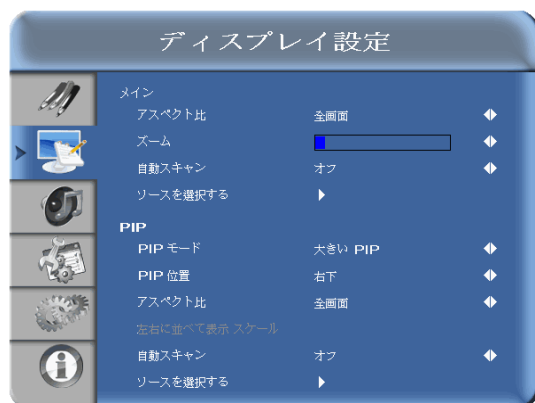
図 4-6. CIE 1931 色度図

3200K ~ 9600K の値を選択します。設定値を高くすると画像がより「青く」なり、低くすると画像はより「赤く」なります。独自の色温度を選択するには、ユーザーを選択して、ゲインとオフセットを次のように設定します。

ゲイン：ゲインコントロールを使って、明るい部分の色温度を微調整します。

オフセット：オフセットコントロールを使って、暗い部分の色温度を微調整します。

ディスプレイ設定



アスペクト比：表示画像のアスペクト比（サイズと形状）ディスプレイ設定メニューからアスペクト比を選択して **ENTER** を押します。表示するプログラム素材の種類に合ったアスペクト比を選択します。

信号素材の特定の種類では、一部のアスペクト比が使用できなかったり、適切に表示されなかったりすることがあります。適切な設定は、次のような要因によって異なります。

- 信号素材の放送時や再生媒体のエンコード時に使用されたアスペクト比。
- 「ディスプレイタイプ」（16：9 または 4：3）と、信号コンポーネントの出力解像度設定。最新の DVD/BD プレイヤーとセットトップボックスには、このようなコントロールがあります。
- ビューア設定（元のアスペクト比で「黒いバー」を追加するか、いくらか歪みやトリミングがあるが全画面表示にするかの設定）。

ズーム：ディスプレイ設定メニューからズームを選択し、◀または▶を押して 10 段階のズームレベルから 1 つを選択します。

自動スキャン：ディスプレイ設定メニューから自動スキャンを選択し、◀または▶を押してこの機能のオンとオフを切り替えます。**オン**に設定すると、自動スキャンによりメインまたは PIP 入力選択機能（リモコンまたはキーパッドで **SOURCE** ボタンを押すか、リモコンで **P-SOURCE** を押す）で未使用の入力がスキップされ、操作の時間を短縮できます。

入力信号を選択する：ディスプレイ設定メニューから入力信号を選択するを選択し、◀または▶を押してメインの入力信号または PIP ビデオ信号を選択します。

PIP モード：ディスプレイ設定メニューから PIP モードを選択し、◀または▶を押してピクチャーインピクチャーモードを有効にし、PIP ウィンドウのサイズを設定します。

PIP 位置：ディスプレイ設定メニューから PIP 位置を選択し、◀または▶を押してピクチャーインピクチャーモードを有効にし、PIP ウィンドウのサイズを設定します。

左右に並べて表示 スケール：ディスプレイ設定メニューから左右に並べて表示 スケールを選択し、◀または▶を押して PIP、メイン、ズームイン、ズームアウトを選択します。

オーディオ設定



音量：オーディオ設定メニューから音量を選択して◀または▶を押し、オーディオの音量を変更します。

低音：オーディオ設定メニューから低音を選択して◀または▶を押し、オーディオの低周波数をカットまたはブーストします。

高音：オーディオ設定メニューから高音を選択して◀または▶を押し、オーディオの高周波数をカットまたはブーストします。

バランス：左右のスピーカーバランスを調整するには、オーディオ設定メニューからバランスを選択し、◀または▶を押し、1つのチャンネルを他のチャンネルよりも大きくします。

HDMI オーディオ入力：HDMI 入力のいずれかを PC または、HDMI を使用したオーディオ出力をサポートしていない他のデバイスで使用する場合、その入力の HDMI オーディオ入力を **PC** に設定します（または、図 3-7 のようにオーディオ出力をお使いの信号源から接続します）。この設定により、**PC オーディオ入力**からの入力が HDMI 入力に関連付けられます。

DP オーディオ入力：DisplayPort 入力のいずれかを PC または、DisplayPort を使用したオーディオ出力をサポートしていない他のデバイスで使用する場合、その入力の DP オーディオ入力を **PC** に設定します（または、図 3-7 のようにオーディオ出力をお使いの信号源から接続します）。この設定により、**PC オーディオ入力**からの入力が DisplayPort 入力に関連付けられます。

基本設定



OSD 透明：基本設定メニューから OSD 透明を選択して◀または▶を押し、メニューやメッセージボックスの透明度（シースルー）を調整します。ゼロ（0）にするとメニューが不透明になります。

OSD 場所：基本設定メニューから OSD 場所を選択して◀または▶を押すと、OSD メニューを好きな場所に移動できます。

OSD ズーム：基本設定メニューから OSD ズームを選択して◀または▶を押すと、OSD メニューを通常の大ききで表示するか拡大表示するかを選択できます。

OSD 回転：基本設定メニューから OSD 回転を選択して◀または▶を押すと、OSD メニューの向きをディスプレイの向きに合わせて変更できます。

OSD 言語：基本設定メニューから OSD 言語を選択して◀または▶を押すと、OSD 言語（英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、簡体字中国語、ポルトガル語、ロシア語、日本語、韓国語）が選択できます。

OSD タイムアウト：基本設定メニューから OSD タイムアウトを選択して、メニューの選択後、メニューが画面上から消えるまでの時間を指定します。5～120 秒の間で、5 秒単位で選択します。

スリープタイマー：基本設定メニューからスリープタイマーを選択して、指定した時間が経つと本機の電源が切れるようにします。◀または▶を押して、オフ、15 分、30 分、60 分、90 分、120 分から選択します。

無信号タイマー：基本設定メニューから無信号タイマーを選択して、無信号時に電源スタンバイに移行する時間を設定します。◀または▶を押して、オフ、1 分、2 分、3 分、5 分、10 分、20 分、30 分から選択します。

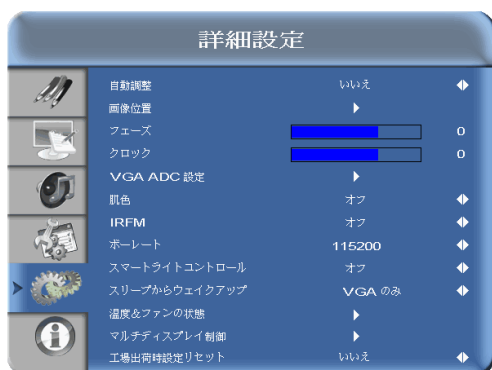
電源 LED：基本設定メニューから電源 LED を選択して、スタンバイモード中の電源表示 LED（図 2-1 参照）の挙動を変更します。**オン**に設定すると、電源表示 LED がオレンジに点灯し、本機が「スタンバイ」モードにあることを示します。**オフ**に設定すると、LED は、ディスプレイの動作状態にかかわらず常に消灯になります。

リアルタイムクロック：基本設定メニューからリアルタイムクロックを選択して、ディスプレイ内蔵リアルタイムクロックを設定します。

このメニューから、曜日ごとや1週間ごとで指定した時刻にディスプレイをオン/オフするようにプログラムすることができます。

- 曜日ごとに電源オン/オフタイマーを設定するためには、タイマーモードを**ユーザー**にします。
- 電源オン/オフタイマーをすべて同じに設定するためには、タイマーモードを**全部同じ設定を適用する**にします。
- 電源オン/オフタイマーを月曜日から金曜日まで同じ設定にするためには、タイマーモードを**稼働日に同じ設定を適用する**に設定します。

詳細設定



自動調整：詳細設定メニューから自動調整を選択すると、ディスプレイに入力信号が強制的に再取得され、ロックされます。この機能は、信号レベルが低い場合に役立ちます。

画像位置 (VGA 信号)：画像位置 (VGA 信号) メニューのコントロールを使って、画像の位置を微調整できます。

- **左 / 右**：Input Position メニューから左 / 右を選択して、映し出す画像を横方向に移動させます。▶を押すと画像が右に動き、◀を押すと左に動きます。
- **上 / 下**：Input Position メニューから上 / 下を選択して、映し出す画像を縦方向に移動させます。▶を押すと画像が上に動き、◀を押すと下に動きます。

フェーズ (VGA 信号)：このコントロールで、入力信号のピクセルサンプリングクロックの位相を調整します。クロック設定を最適化しても画像がチカチカしたり、「ノイズ」が入ったりする場合に位相を調整します。



ヒント

フェーズは、クロック (下記参照) を調整した**後**に調整してください。

最良の結果を得られるよう、はっきりした黒と白のピクセルパターンで構成されているグレーがスムーズなパターンや、同様の「ハーフオン、ハーフオフ」画像などのしっかりしたテストパターンを使ってください。画像が安定し、それぞれのピクセルがきれいに表示されるまでスライダーを調整してください。画像が安定する点は1か所だけではないことがあります。そのような場合は、安定するいずれかの点に設定してください。

クロック (VGA 信号) : このコントロールで、ピクセルサンプリングクロックの周波数を設定します。その信号からのすべてのピクセルがサンプリングされるような、1 行あたりの入力ピクセル数を指定します。

一定のちらつきがあったり、ぼんやりとした複数の縦縞や帯が画像全体に表示される場合は、ピクセルトラッキングが正しく設定されていません。適切にピクセルトラッキングを行うと、画面全体の画質やアスペクト比が一定に保たれ、ピクセル位相（前述を参照）が最適化されます。

VGA ADC 設定 : 詳細設定メニューから VGA ADC 設定を選択し、ディスプレイの VGA 信号用アナログ - デジタルコンバーター (ADC) を校正します。

肌色 : 詳細設定メニューから肌色を選択し、画像の肌色部分を明るくしたり暗くします（この設定はビデオ信号でのみ使用できます）。

IRFM : 詳細設定メニューから IRFM を選択して◀または▶を押し、オフ、オン、ビデオウォールの設定を行います。

- **オフ :** IRFM を無効にします。
- **標準 :** IRFM を有効にします。
- **ビデオウォール :** ビデオウォール設定時に IRFM を有効にします

この機能を有効にすると、画像の残像が残るのを防ぐために、わずかにフレームが動きます。

ボーレート : 詳細設定メニューからボーレートを選択し、◀または▶を押し RS-232C 通信リンクのデータ転送速度を設定します。

スマートライトコントロール : 詳細設定メニューからスマートライトコントロールを選択して、◀または▶を押しローカルディミング または オフの設定をしてください。

ローカルディミングを設定をすると、黒が多い画像の場合にバックライトを部分的に制御することで画面のコントラストがあがり、かつ省電力になります。

注：映像によっては違和感のある動作に感じる場合があります。この場合は設定をオフにしてください。

スリープからウェイクアップ : 詳細設定メニューからスリープからウェイクアップを選択し、◀または▶を押しこの機能を制御します。このとき次のように動作します。

- **VGA のみ :** VGA (アナログ) 入力からアクティブなビデオ信号を受信すると、省電力モードから通常のように表示が回復します。
- **VGA、デジタル、RS-232C :** VGA、HDMI、DisplayPort または DVI 入力からのアクティブな信号を受信したり、有効な RS-232C コマンドを受信すると表示が回復します。
- **スリープなし :** ディスプレイは省電力モードに移行しません。



注意

ビデオウォール構成時は VGA、デジタル、RS-232C または、スリープなしの設定を選択してください。

温度&ファンの状態 : 詳細設定メニューから温度&ファンの状態を選択すると、ディスプレイの状態に関する情報（内部動作温度と冷却ファン速度）が表示されます。

マルチディスプレイ制御：詳細設定メニューからマルチディスプレイ制御を選択して▶を押すと、ビデオウォールを設定できます。サブメニューには次のコントロールがあります。

- **モニター ID**：このコントロールで、ビデオウォールを構成するそれぞれのディスプレイのモニター ID を手動で設定できます。
- **ビデオウォール**：このコントロールを使って、ビデオウォールモードを有効 / 無効にします。
- **DVI 補償**：1 つのデジタル信号と DVI パススルーケーブルで大きなマトリックスを表示する場合、この設定を**オン**にすると、ビデオ品質とパススルー信号の信頼性が向上することがあります。
- **電源オン遅延**：ビデオウォールの電源をオンにした時に、1 度に必要となる電力が少なくなるように、このコントロールで電源オンの動作をずらし、1 度にすべてのモニターの電源が付かないようにします。モニターごとに 0 ~ 30 秒（それぞれ）の値を選択します。



ビデオウォールを**はい**に設定すると、次の追加設定を行うことができます。

- **フレーム**: このコントロールで、ディスプレイ間のつなぎ目補正の有効/無効を切り替えます。隣り合うディスプレイ間の隙間を補正することにより、ビデオウォールの隣り合うディスプレイの端を結合して1つにします。これにより、物体がその隙間の「背後」を動いているように表示され、ウォール全体の動きの連続性が改善されます。

「**オン**」はディスプレイ間のつなぎ目をかくします。



(動画に適しています)

「**オフ**」はディスプレイ間のつなぎ目を表示します。



(静止画に適しています)

- **マトリクス X**: このコントロールで、ビデオウォールの縦列のディスプレイ数を指定します。
- **マトリクス Y**: このコントロールで、ビデオウォールの横列のディスプレイ数を指定します。
- **デビジョン X**: このコントロールで、ビデオウォールの水平方向（縦列）の位置を指定できます。
- **デビジョン Y**: このコントロールで、ビデオウォールの縦方向（横列）の位置を指定できます。
- **IR モード制御**: このコントロールで、IR モード制御のオフ、オール、ターゲットの選択を行います。

「**オフ**」: ノーマルモードにする。

「**ターゲット**」: 操作できるディスプレイの ID 番号を設定します。

「**オール**」: ディスプレイの ID に関係なく、すべてのディスプレイを設定します。

IR モードをターゲットに設定すると、受信者 ID をモニター ID と同様の ID に切替えることにより、リモコンでディスプレイの個別操作が可能となります。

「**受信者 ID**」: ディスプレイ ID 番号を設定します。ID は 1 ~ 100 まで設定することができます。

- **IR モードをオフモードにする**: リモコンの MENU ボタンを 2 秒以上押すと、IR モードはオフに戻ります。



IR モード制御を使用するためには、先頭のディスプレイに付属の IR 拡張ケーブルを接続し、以降のディスプレイは、RS-485 コネクタを介して、付属の RJ45 ケーブルを接続してください。

IR 拡張ケーブル使用時は先頭のディスプレイ以外は本体キーロック設定を行ってください。(53 ページ 図 6-4 参照)

また、本機能使用時は、詳細設定メニューの「スリープからウェイクアップ」の設定を「VGA Only」から「VGA, Digital, RS-232C」に設定してください。



ビデオウォール内のディスプレイの位置を変更するためには、最初にディスプレイのモニター ID をプルダウンメニューから選択します。

工場出荷時設定リセット：すべてのディスプレイ設定（画像設定を含む）を工場出荷時の設定に戻す場合は、詳細設定メニューから工場出荷時設定リセットを選択します。

確認メッセージが表示されます。**はい**を選択し、リセットを進めるか、**いいえ**を選択してキャンセルします。



注意

この操作は元に戻せません。慎重に操作してください。

システム状態



システム状態メニューは表示のみで、ディスプレイに関する次の情報が表示されます。

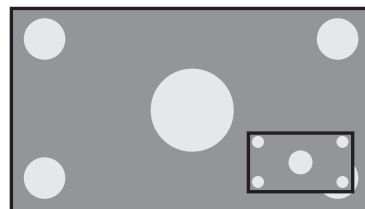
- メインおよび PIP 信号の解像度とリフレッシュレート
- これまでのディスプレイの動作時間
- 現在インストールされているファームウェアバージョン

4.5 ピクチャーインピクチャー（PIP）を使用する

PIP を使用するには、**PIP** ボタンを押します。



PIP ウィンドウがメイン画像ウィンドウ内に表示されます。



もう 1 度 **PIP** ボタンを押すと、PIP がオフになります。

PIP の入力信号を選択するには **P-SOURCE** ボタンを押します。各入力信号で、PIP 入力信号として使用可能な他の信号を表 4-1 に示します。

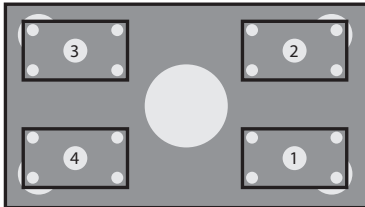
表 4-1. 組み合わせ可能なメイン入力信号と PIP 入力信号

		メイン入力信号							
		VGA	HDMI 1	HDMI 2	DVI	DisplayPort	ビデオ	S-Video	コンポーネント
PIP 入力信号	VGA	-	√	√	√	√	√	√	√
	HDMI 1	√	-	-	-	√	√	√	√
	HDMI 2	√	-	-	-	√	√	√	√
	DVI	√	-	-	-	√	√	√	√
	DisplayPort	√	√	√	√	-	√	√	√
	ビデオ	√	√	√	√	√	-	-	√
	S-Video	√	√	√	√	√	-	-	√
	コンポーネント	√	√	√	√	√	√	√	-

メモ：「√」は、その入力を選択されている場合に PIP 入力信号として使える信号、「-」は使えない信号です。

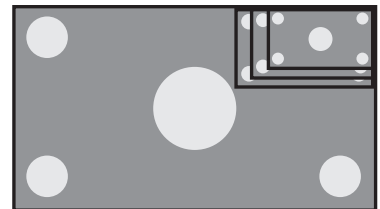
PIP (ピクチャーインピクチャー) の位置を変更する

PIP ウィンドウの位置を変更するには、リモコンの **P-POSITION** ボタンを、ウィンドウが好きな位置に表示されるまで繰り返し押します。



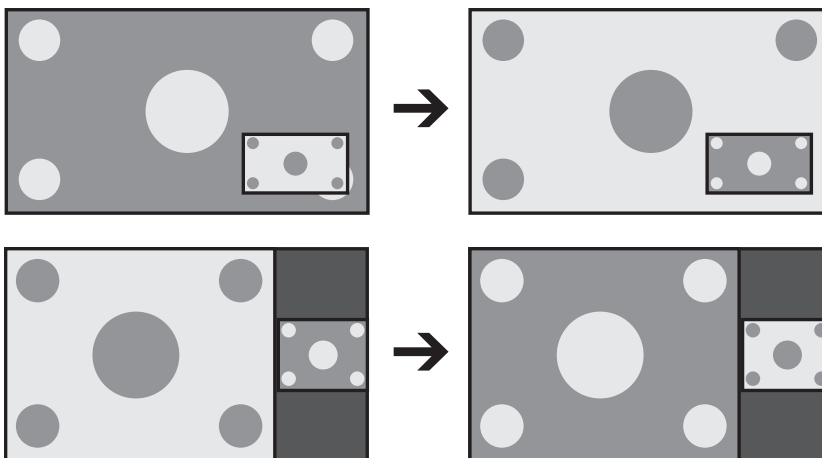
PIP サイズを変更する / 左右に並べて表示する PIP モードを選択する

ディスプレイ設定メニューから PIP モードを選び、◀または▶を押して PIP ウィンドウのサイズを変更したり、PIP の「左右に並べて表示」を有効にします。



メインの画像と PIP の画像を反対にする

メインの画像と PIP の画像を反対にするには、リモコンの **SWAP** ボタンを押します。



5. メンテナンスとトラブルシューティング

メンテナンス

液晶ディスプレイは、使用者による定期的なメンテナンスは不要です。使用者が保守する部品や、交換できる部品はありません。本機の部品を修理または交換しないでください。使用者が修理・交換した場合は、保証の対象外となります。

トラブルシューティング

表 5-1 は、スーパーナローベゼル LED ディスプレイの使用中に発生する可能性のある問題の一般的なトラブルシューティングの一覧です。記載されている解決方法でも問題が解決しない場合や、ここに記載されていない問題が発生した場合は、販売店にご連絡ください。

表 5-1. トラブルシューティング表

症状	考えられる原因	解決方法
ディスプレイの電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイが AC 電源に接続されていないか、AC 電源が故障している。 主電源スイッチがオフになっている。 リモコンの乾電池が消耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイが AC 電源に接続されており、電源スイッチを入れても LED ランプが光らない場合は販売店にご連絡ください。 主電源スイッチ（3 ページの図 2-1 を参照）をオンの位置にしてください。 乾電池を交換してください。
ディスプレイがオンでメニューが表示されるが、画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号の選択が正しくない。 接続機器の電源が入っていない。 接続機器のケーブルが正しく接続されていないか、1 つも接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい入力信号を選択してください。 接続機器の電源を入れてください。 接続機器からディスプレイまでの接続を確認してください。
リモコンが動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの乾電池が消耗している。 ボタンがロックされている。 IR 拡張ケーブルが接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池を交換してください。 ENTER、ENTER、EXIT、EXIT、ENTER および EXIT を続けて押してロックを解除してください。 IR 拡張ケーブルが正しく接続されているか確認してください（16 ページの図 3-5 を参照）。
画像の形状が正しくない。	<ul style="list-style-type: none"> アスペクト比の選択が正しくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のアスペクト比を選択してください。
ディスプレイがちらちらしたり不安定。	<ul style="list-style-type: none"> 画質が悪い、または入力信号の接続が誤っている。 入力信号の水平または垂直走査周波数がディスプレイの表示範囲外である。 	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号が適切に接続されており、適切な品質で検出されているかを確認してください。 入力信号側を変更してください。

表 5-1. トラブルシューティング表 (続き)

症状	考えられる原因	解決方法
画像が明るすぎる、または画像の明るい部分がとんでしまっている。	<ul style="list-style-type: none"> コントラストの設定が高すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> コントラスト設定を下げてください。
画像が「色あせて」表示される、または暗い部分が明るく表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 輝度の設定が高すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> 輝度設定を下げてください。
画像が暗すぎる。	<ul style="list-style-type: none"> 輝度とバックライトのどちらか、または両方の設定が低すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> 輝度とバックライトの設定をどちらか、または両方高くしてください。
コンポーネントビデオ信号からの画像の色が逆になっている (赤色が青色で表示される、またはその逆になるなど)。	<ul style="list-style-type: none"> 信号源からの赤 /Pr、緑 /Y または青 /Pb 出力が、ディスプレイの間違った入力に接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 信号源の出力が正しいコンポーネント入力コネクタに接続されているか確認してください (19 ページの図 3-8 を参照)。
HDMI 入力信号からの画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターのビデオカードの解像度と周波数が本機に対応していない。 信号源からの HDMI ケーブルが故障しているか長すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応している解像度と垂直周波数を選択してください (サポートしているタイミング 61 ページを参照)。 品質が良く、もっと短い HDMI ケーブルを使ってください。
コンピューターの画像が正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターのビデオカードの解像度と周波数が本機に対応していない。 クロック設定とフェーズ設定を調整する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応している解像度と垂直周波数を選択してください (サポートしているタイミング 61 ページを参照)。 クロック設定とフェーズ設定を調整してください (フェーズ (VGA 信号) 36 ページとクロック (VGA 信号) 37 ページを参照)。
コンポジットビデオ入力信号からの画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> コンポジット入力と S-Video 入力の両方が入力端子に接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> S-Video 信号を取り外してください。

6. 外部制御

本機のキーボードやリモコンユニット以外に、シリアル（RS-232C/RS-485）接続を使って ASCII コマンドとその応答を送受信して本機を制御することができます。

また、個別赤外線（IR）制御コードを使ってサードパーティ製のリモコンユニットをプログラムすることもできます。詳しくは、「**個別赤外線（IR）コードを使用する**」57 ページを参照してください。

6.1 シリアル通信

本機は簡単なテキストベースの制御プロトコルを使って、制御デバイスから要求を受け取り、そのデバイスに応答します。このセクションでは、本機とオートメーション / 制御システムまたは次のソフトウェアを実行している PC 間で、シリアル接続経由で制御メッセージを送信する方法について説明します。

- Windows® ハイパーターミナルまたは TeraTerm などのターミナルエミュレーションプログラム
- Video Wall Toolbox (Windows アプリケーションで、リモコンのボタンをシミュレートし、シリアルコマンドの送信とそれに対する応答の受信が可能なグラフィカルユーザーインターフェイス)

RS-232C 通信ポートを設定する

制御システムまたは PC を、ディスプレイの RS-232C 入力に、図 3-4 のように接続します。

RS-232C コントローラーまたは PC のシリアルポートを次のように設定します。パリティなし、8 データビット、1 ストップビット、フロー制御なしボーレートを、本機 RS-232C ポートに合わせ 115200 に設定します。

コマンド形式と応答形式

オートメーション / 制御システムまたは PC から本機に送信するコマンドは、次の形式にしてください。

[STX] [IDT] [TYPE] [CMD] ([VALUE] または [REPLY]) [ETX] [CR]

各部の意味は次のとおりです。

- [STX] は、コマンドデータの開始を示します（通常 07）。
- [IDT] はディスプレイ ID です。16 進数の 01 ~ 64 までの、1 つ 1 つのディスプレイに対応する値です。00 を使うと、コマンドがビデオウォールのすべてのパネルに送信されます。
- [TYPE] はコマンドタイプです。次のいずれかです。
 - 00 = ホストにリターン（LCD パネルからの応答）
 - 01 = 読み取り / アクション
 - 02 = 書き込み
- [VALUE] はコマンドのパラメータ設定です。
- [REPLY] はコマンドのパラメータ設定で、コマンドに対するディスプレイの応答です。
- [ETX] は、コマンドデータの終了を示します（通常 08）。
- [CR] は、ASCII キャリッジリターンキー（0x0D）です。

コマンドと応答の例

以降で、シリアルコマンドとその応答の例をいくつか紹介します。

表 6-1. シリアルコマンド / 応答の例

説明	LCD パネルに送信されるコマンド	LCD パネルから受信する応答
LCD パネルの電源をオフにする。	07 01 02 50 4F 57 00 08	07 01 00 50 4F 57 00 08
LCD パネルの電源をオンにする。	07 01 02 50 4F 57 01 08	07 01 00 50 4F 57 01 08
LCD パネルの電源状態を要求する。	07 01 01 50 4F 57 08	07 01 00 50 4F 57 XX 08 (オフの場合 XX = 0、オンの場合 = 1)
LCD パネルのコントラストを 30 に設定 (1E、16 進) する。	07 02 02 43 4F 4E 1E 08	07 02 00 43 4F 4E 1E 08
LCD パネルで大きい PIP を使うよう要求する。	07 19 02 50 53 43 03 08	07 19 00 50 53 43 03 08
LCD パネルの表示設定をリセットする。	07 02 02 41 4C 4C 00 08	07 02 00 41 4C 4C 00 08
LCD パネルのシリアル番号を要求する。	07 01 01 53 45 52 08	07 01 00 53 45 52 S(0)…S(12) 08 S(0) …S(12) = ASCII でのシリアル番号
LCD パネルのファームウェアバージョンを要求する。	07 01 01 47 56 45 08	07 01 00 47 56 45 S(0)…S(5) 08 S(0) …S(5) = ASCII でのファームウェアバージョン

シリアルコマンド一覧

表 6-2 は、サポートされているコマンドの全一覧です。

表 6-2. シリアルコマンド

メイン項目	制御項目	コマンド	タイプ	値 (10 進)	応答 (10 進)	内容	コマンド (16 進)
電源制御と入力信号	電源制御	POW	W/R	00	00	オフ (ソフト電源) (高性能 A/D ボード (オプション) の場合)	50 4F 57
				01	01	オン (ソフト電源)	
	入力信号	MIN	W/R	00	00	VGA	4D 49 4E
				01	01	デジタル DVI	
				02	02	S-Video	
				03	03	コンポジットビデオ	
				04	04	コンポーネント	
				09	09	HDMI 1	
10	10	HDMI 2					
13	13	DisplayPort					

表 6-2. シリアルコマンド

メイン項目	制御項目	コマンド	タイプ	値 (10進)	応答 (10進)	内容	コマンド (16進)
ディスプレイ 調整	ディスプレイ 調整	BRI	W/R	0 ~ 100	現在値	バックライトの輝度	42 52 49
		BRL	W/R	0 ~ 100	現在値	デジタル輝度レベル	42 52 4C
		BLC	W/R	00	00	オフ (バックライト)	42 4C 43
				01	01	オン (バックライト)	
		CON	W/R	0 ~ 100	現在値	コントラスト	43 4F 4E
		HUE	W/R	0 ~ 100	現在値	色相	48 55 45
		SAT	W/R	0 ~ 100	現在値	彩度	53 41 54
		COT	W/R	00	00	ユーザー	43 4F 54
				01	01	6500K	
				02	02	9300K	
				06	06	5000K	
				07	07	7500K	
		GAC	W/R	00	00	オフ (ガンマ)	47 41 43
				01	01	2.2 (ガンマ)	
		USR	W/R	0 ~ 255	現在値	赤ゲイン (128 ~ 383)	55 53 52
		USG	W/R	0 ~ 255	現在値	緑ゲイン (128 ~ 383)	55 53 47
		USB	W/R	0 ~ 255	現在値	青ゲイン (128 ~ 383)	55 53 42
		UOR	W/R	0 ~ 100	現在値	赤オフセット (-50 ~ 50)	55 4F 52
		UOG	W/R	0 ~ 100	現在値	緑オフセット (-50 ~ 50)	55 4F 47
		UOB	W/R	0 ~ 100	現在値	青オフセット (-50 ~ 50)	55 4F 42
		PHA	W/R	0 ~ 63	現在値	フェーズ	50 48 41
		CLO	W/R	0 ~ 100	現在値	クロック	43 4C 4F
		HOR	R		現在値	水平位置	
VER	R	現在値	垂直位置				
ADJ	W	00	00	自動調整	41 44 4A		
ディスプレイ 調整	ビデオモード	SHA	W/R	0 ~ 24	現在値	シャープネス	53 48 41
その他 制御	PIP 調整	PSC	W/R	00	00	PIP オフ	50 53 43
				01	01	PIP 小	
				02	02	PIP 中	
				03	03	PIP 大	
				04	04	PIP を左右に並べて表示	

表 6-2. シリアルコマンド

メイン項目	制御項目	コマンド	タイプ	値 (10進)	応答 (10進)	内容	コマンド (16進)
その他 制御 (続き)	PIP 信号選択	PIN	W/R	00	00	VGA	50 49 4E
				01	01	デジタル DVI	
				02	02	S-Video	
				03	03	コンポジットビデオ	
				04	04	コンポーネント	
				09	09	HDMI 1	
				10	10	HDMI 2	
				13	13	DisplayPort	
	PIP 位置	PPO	W/R	00	00	PIP 位置左下	50 50 4F
				01	01	PIP 位置右下	
				02	02	PIP 位置左上	
				03	03	PIP 位置右上	
	PIP/ メイン 切り替え	SWA	W	00	00	メインと PIP を切り替える	53 57 41
	拡大 / 縮小	ASP	W/R	00	00	ネイティブ	41 53 50
				01	01	全画面	
				02	02	サイドパネル	
				03	03	レターボックス	
		ZOM	W	00	00	ズームイン	5A 4F 4D
				01	01	ズームアウト	
	ポーレート 調整	BRA	W/R	00	00	115200	42 52 41
				01	01	38400	
				02	02	19200	
				03	03	9600	
	その他のコン トロール	RCU	W	00	00	MENU キー	52 43 55
				01	01	INFO キー	
				02	02	上キー	
				03	03	下キー	
				04	04	左キー	
05				05	右キー		
06				06	ENTER キー		
07				07	EXIT キー		

表 6-2. シリアルコマンド

メイン項目	制御項目	コマンド	タイプ	値 (10進)	応答 (10進)	内容	コマンド (16進)		
その他 制御 (続き)	その他の コントロール (続き)			08	08	VGA キー			
				09	09	DVI キー			
				10	10	HDMI1 キー			
				11	11	HDMI2 キー			
				12	12	DISPLAYPORT キー			
				13	13	COMP キー			
				14	14	S-V キー			
				15	15	AV キー			
				18	18	SOURCE キー			
				19	19	P-SOURCE キー			
				20	20	PIP キー			
				21	21	P-POSITION キー			
				22	22	SWAP キー			
				23	23	SCALING キー			
				24	24	FREEZE キー			
				25	25	MUTE キー			
				26	26	BRIGHT キー			
				27	27	CONTRAST キー			
				28	28	AUTO キー			
				29	29	VOLUME+ キー			
				30	30	VOLUME- キー			
				ALL	W	00	00	すべてリセット	41 4C 4C
				KLC	W/R	00	00	キーのロックを解除する	4B 4C 43
						01	01	キーをロックする	
				SER	R		13バイト	シリアル番号を取得する	53 45 52
				MNA	R		13バイト	モデル名を取得する	4D 4E 41
				GVE	R		6バイト	ファームウェアバージョンを取得する	47 56 45
				RTV	R		現在値	RS-232C テーブルを取得するバージョン	52 54 56
				RTT	R		現在値	内部熱センサーの温度を取得する	52 54 54

表 6-2. シリアルコマンド

メイン項目	制御項目	コマンド	タイプ	値 (10進)	応答 (10進)	内容	コマンド (16進)
その他 制御 (続き)	その他の コントロール (続き)	RSF	W	0 ~ 255	00	ファン 0 の速度を取得する (RPM= 40 × 応答値)。	52 53 46
				0 ~ 255	01	ファン 1 の速度を取得する (RPM= 40 × 応答値)。	
		WFS	W/R	00	00	スリープから回復する = VGA のみ	57 46 53
				01	01	スリープから回復する = VGA、デジタル、RS-232C	
				02	02	スリープから回復する = スリープしない	
		オーディオ	VOL	W/R	0 ~ 100	現在値	音量
	MUT		W/R	00	00	ミュートオフ	4D 55 54
				01	01	ミュートオン	
	スキーム 選択	SCM	W/R	00	00	ユーザー	53 43 4D
				01	01	Sport	
				02	02	sRGB	
				03	03	Cinema	
				04	04	Vivid	
	マルチディス プレイ制御	SID	W	00	00	モニター ID 確認	53 49 44
		CID	W	1 ~ 100	00	モニター ID 変更	43 49 44
		VWS	W/R	00	00	ビデオウオール オフ	56 57 53
				01	01	ビデオウオール オン	
		VWF	W/R	00	00	ビデオウオール つなぎ目補正 オフ	56 57 46
				01	01	ビデオウオール つなぎ目補正 オン	
MAT		W/R	X: 1~10 Y: 1~10	Current value	マトリクス X, Y 値 上位 4 ビット X: 7 ~ 4 bit 下位 4 ビット Y: 3 ~ 0 bit	4D 41 54	
DIV		W/R	X: 1~10 Y: 1~10	Current value	デビジョン X, Y 値 上位 4 ビット X: 7 ~ 4 bit 下位 4 ビット Y: 3 ~ 0 bit	44 49 56	
DID		W/R	00	00	DVI 補償 オフ	44 49 44	
			01	01	DVI 補償 オン		
POD	W/R	0 ~ 30	Current value	電源オンディレイ整数設定 Delay (0, 1, 2, ..., 30 秒).	50 4F 44		
POE	W/R	0 ~ 19	Current value	電源オンディレイ端数設定 (0, 0.05, 0.10, ..., 0.95 秒).	50 4F 45		

6.2 Video Wall Toolbox を使用する

Video Wall Toolbox ソフトウェア（本機に付属）を使うと、Windows Vista、7 搭載の PC を使用したビデオウォールの設定（5×5 列）が簡単にできます。また、1 台のディスプレイの設定や制御もできます。

Video Wall Toolbox はリモコンユニットや内蔵キーパッドの代わりとして、ディスプレイの制御ができます。OSD メニューのすべてのコントロールが、使いやすく直感的なグラフィカルユーザーインターフェイスで表示されます。

インストールと初期設定

Video Wall Toolbox を使用するには、次の手順を行います。

1. 付属の CD から、Windows PC にソフトウェアをインストールします。
2. **「RS-232C の配線」** 23 ページの説明どおりに、ビデオウォールに PC を接続します。
3. PC RS-232C 接続のボーレートとモニターのボーレートを同じにしてください。ボーレートの既定値は 115200 です。
4. Video Wall Toolbox ソフトウェアを起動すると、図 6-1 のような Video Wall Configuration 画面が表示されます。

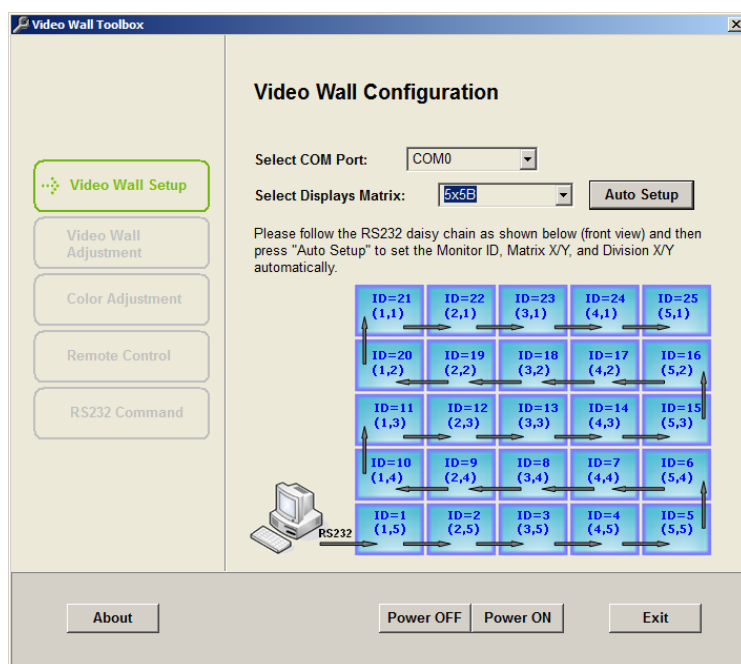


図 6-1. Video Wall Toolbox : Video Wall Configuration 画面

5. ビデオウォールを接続している COM ポートを、**Select COM Port:** プルダウンメニューから選択します。
6. ビデオウォールのサイズを、**Select Displays Matrix:** プルダウンメニューから選択します。
7. **Auto Setup** を押すと、Video Wall Toolbox ソフトウェアで自動的に、ビデオウォールのすべてのディスプレイに適切なモニター ID が割り当てられます。

Video Wall Adjust 画面

図 6-2 のような Video Wall Adjust 画面で、マルチディスプレイ制御 OSD メニュー（「マルチディスプレイ制御」38 ページ参照）と同じコントロールを使用できます。

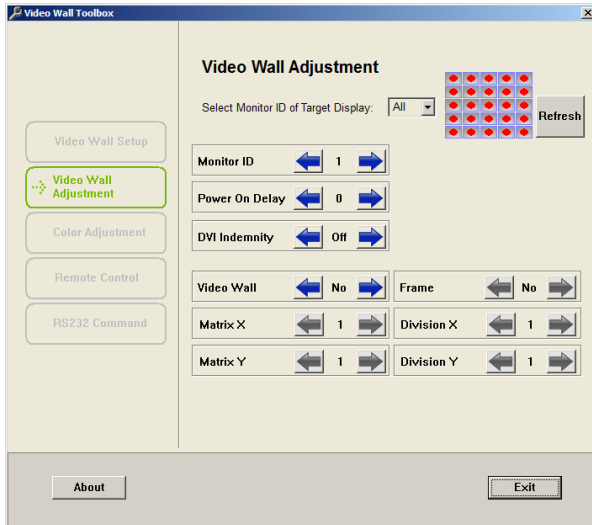


図 6-2. Video Wall Toolbox : Video Wall Adjust 画面

Color Adjustment 画面

図 6-3 のような Color Adjustment 画面で、画像設定 OSD メニュー（「画像設定」28 ページ参照）と同じ画質コントロールを使用できます。

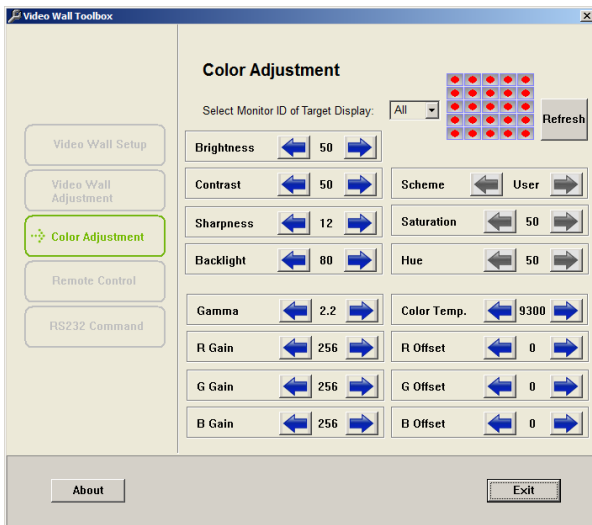


図 6-3. Video Wall Toolbox : Color Adjustment 画面

Remote Control 画面

図 6-4 のような Remote Control 画面で、リモコンユニットと同じ機能を使用できます。

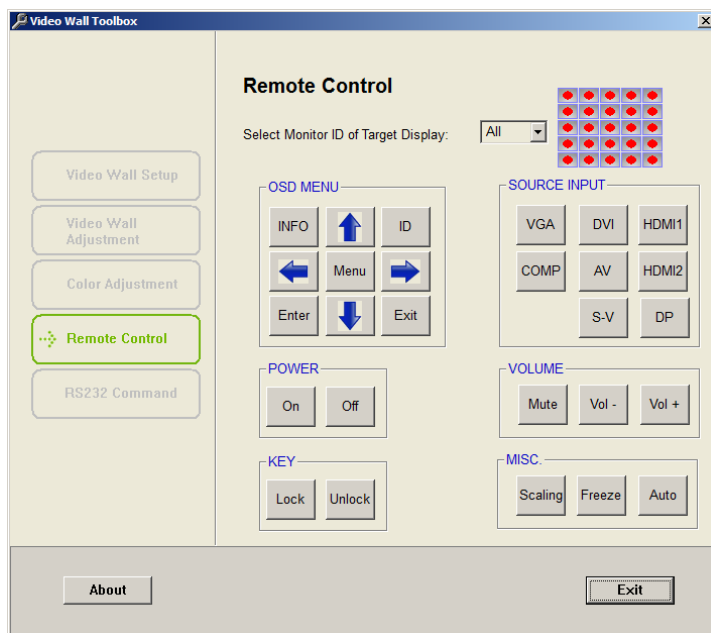


図 6-4. Video Wall Toolbox : Remote Control 画面

キーロック設定

Remote Control 画面の「KEY」設定で、Lock を選択することで本体操作ボタン及びリモコン入力にロックがかかります。

「Unlock」を選択するとロックが解除されます。



ビデオウォール設定で IR 拡張ケーブル使用時は、Select Monitor ID of Target Display 設定にて、IR 拡張ケーブルが接続される先頭ディスプレイ以外のディスプレイに対し、キーロック設定をしてください。

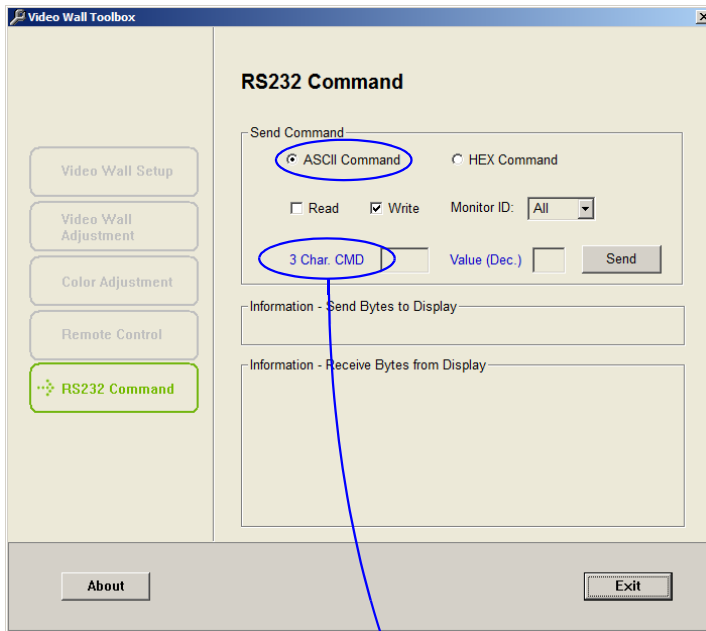


キーロックはリモコンユニットでも可能です。本体リモコン受光部に向けて、「Enter - Enter - Exit - Exit - Enter - Exit」と押すと本体キーロックがかかります。

再度「Enter - Enter - Exit - Exit - Enter - Exit」と押すと本体キーロックが解除されます。

RS-232C Command 画面

図 6-5 のような RS-232C Command 画面 (ASCII モード) と図 6-6 (HEX モード) で、サポートされている RS-232C コマンドを ASCII または 16 進数の形式のどちらかで手動で入力できます (表 6-2 に、サポートされている全コマンドを記載しています)。



コマンド選択ウィンドウ

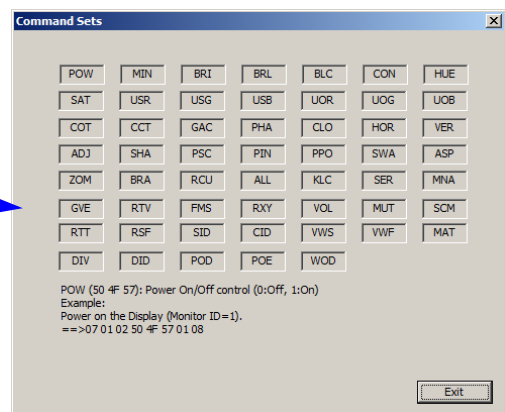


図 6-5. Video Wall Toolbox : RS-232C Command 画面 (ASCII モード)

ASCII 形式でコマンドを送信するには：

1. **ASCII Command** をチェックして選択します。
2. コマンドのタイプを、**Read** または **Write** をチェックして選択します。
3. **Monitor ID**: プルダウンメニューから、コマンド送信先を選択します。
4. **3 Char.CMD** というテキストボックスをクリックし、表 6-2 に記載した 3 文字の有効なコマンドを入力します。

または

3 Char.CMD をクリックしてコマンド選択ウィンドウを表示します。マウスポインタをコマンドの上に置くと、そのコマンドの短い説明と例（16 進数形式）がウィンドウの下部に表示されます。コマンドをクリックして選択します。

5. 書き込みコマンドの場合、**Value (Dec.)** テキストボックスをクリックしてコマンドと共に送信する 10 進パラメータ値を入力するか、**Value (Dec.)** をクリックしてパラメータ入力モードを **Value (Hex)** に変更し、16 進数値を入力します。
6. **Send** をクリックします。コマンドが正常に実行されると、送信したコマンドと送信先ディスプレイからの応答がウィンドウに表示されます。

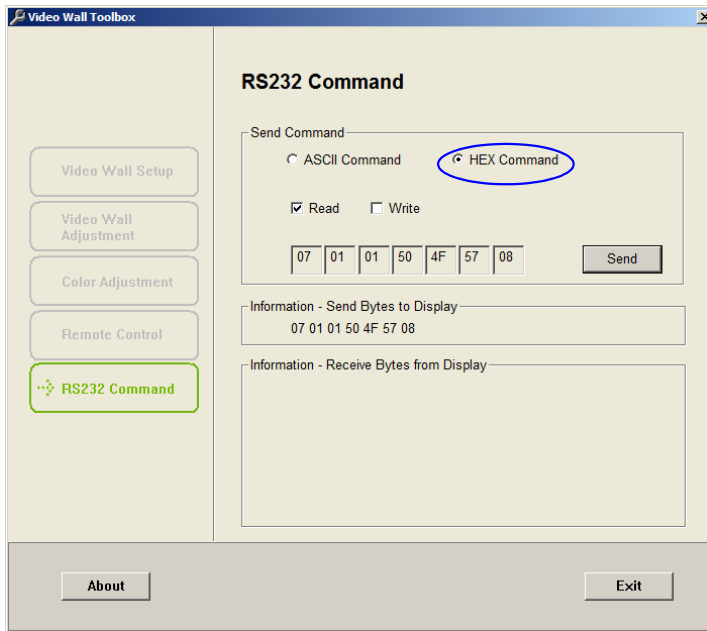


図 6-6. Video Wall Toolbox : RS-232C Command 画面 (HEX モード)

HEX 形式でコマンドを送信するには：

1. **HEX Command** ラジオボタンをチェックして選択します。
2. コマンドのタイプを、**Read** または **Write** をチェックして選択します。
3. 最も左側のテキストボックスをクリックして 07 を入力します。
4. 2 番目のテキストボックスにモニター ID を入力します。
5. 3 番目のテキストボックスに 01 (読み取り) または 02 (書き込み) を入力します。
6. その次の 3 つのテキストボックスに、コマンドを入力します。
7. 書き込みコマンドの場合、コマンドと共に送信するパラメータ値を入力します。
8. 最も右側のテキストボックスに 08 を入力します。
9. **Send** をクリックします。コマンドが正常に実行されると、送信したコマンドと送信先ディスプレイからの応答がウィンドウに表示されます。

6.3 個別赤外線 (IR) コードを使用する

本機では、NEC フォーマットに適合する赤外線 (IR) 信号形式のコマンドを使用できます。本機リモコンのそれぞれのボタンに、IR 制御コードが関連付けられています。

このコードを使用して、付属のリモコン以外の「ユニバーサル」リモコンユニットを本機で使用できるようにプログラムできます。こうした「ユニバーサル」リモコンは通常、このようなプログラムを行うためのコンピューターソフトウェアアプリケーションが付属しています。詳しくは、そのリモコンユニットに付属のマニュアルを参照してください。

赤外線 (IR) コマンドフォーマット

IR 制御コードには次の特性があります。

- それぞれのコードは次のような構成になっています。
 - リーダーパルス (9ms の変調パルスと 4.5ms 変調パルス)。
 - 16 アドレスビット (「カスタムコード」とも) : 8 ビットのアドレスとアドレスの論理逆数。本機のカスタムコードは 10 進で 18607 (0X48CF、バイナリで 01001000 11001111)。
 - 16 データビット : 8 ビットのコマンドとコマンドの論理逆数。
 - エンドパルス (0.56ms の変調パルス、「0」および「1」ビットの変調パルスと同様)。変調パルスの最後がデータ送信の最後となります。
- 搬送周波数は 38 kHz で、変調パルスのデューティサイクルは 33% です。
- コマンドは、最大速度 9 Hz で送信されます。

たとえば、本機リモコンユニットの **POWER** ボタンの NEC 制御コードは以下のとおりです。

Hex	48	CF	03	FC
バイナリ	01001000	11001111	00000011	11111100
機能	カスタムコード 1 バイト	カスタムコード 2 バイト	コマンド	コマンド (論理逆数)

赤外線 (IR) 制御コード一覧

表 6-3 は、本機で使用できる赤外線 (IR) 制御コードの一覧です。

表 6-3. 赤外線 (IR) 制御コード

カスタマーコード	データコード	機能
48CF	19E6	INFO
48CF	03FC	POWER
48CF	04FB	VGA
48CF	2DD2	DVI
48CF	2ED1	HDMI1
48CF	06F9	COMP
48CF	3FC0	AV
48CF	34CB	HDMI2
48CF	1AE5	PIP POSITION
48CF	41BE	DISPLAY PORT
48CF	24D8	PIP
48CF	2FD0	S-V
48CF	26D9	SWAP
48CF	25DA	PIP SOURCE
48CF	20DF	MENU
48CF	23DC	ENTER
48CF	1FE0	EXIT
48CF	29D6	SCALING
48CF	27D8	FREEZE
48CF	1BE4	MUTE
48CF	07F8	BRIGHTNESS
48CF	08F7	CONTRAST
48CF	09F6	AUTO
48CF	1DE2	SOURCE
48CF	16E9	VOLUME -
48CF	17E8	VOLUME +

7. 仕様

7.1 仕様

表 7-1 は本機の仕様一覧です。

表 7-1. 仕様一覧表

特にモデル名の記載がない箇所については、TD-X55 シリーズ共通仕様です。

LCD パネル	
輝度	TD-X551M : 500 cd/m ² (工場出荷時 : 400cd/m ² 標準) TD-X551X : 800 cd/m ² (工場出荷時 : 640cd/m ² 標準)
コントラスト比	1400:1
視野角	横 : 178° / 縦 : 178°
応答時間	10 ms (Gray to Gray)
最大表示色	約 10 億 6000 万色
表示解像度	1920×1080 (16:9)
ディスプレイフレームレート	60 Hz
信号の互換性 / 接続性	
水平 / 垂直周波数	31 ~ 91 kHz / 56 ~ 85 Hz
入力解像度	1920×1080 @ 60 Hz (アナログ)、1920×1080 @ 60 Hz (デジタル)
端子、コネクタ	DisplayPort/HDMI×2/DVI-D (入力 / 出力) /VGA (入力 / 出力) /PC オーディオ入力 /IR 拡張 / オーディオ出力 / コンポーネント /S-Video/ コンポジット
通信ポート	RS-232C 入力、RS-485 入力 / 出力
機械的仕様	
寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	1215.2 x 686.0 x 80.0 (mm) : 63 ページの図 7-1 を参照してください。
重量	本体 : 約 33.2kg、梱包状態 : 約 44.0kg
壁面取り付け	600mm×400mm VESA 規格準拠
OSD 機能	
制御	RS-232C、本体操作ボタン、IR リモートコントローラー
言語	英語、簡体字中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、日本語、韓国語
画像オプション	PIP、PBP (左右に並べて表示)、ズーム
入力信号自動検出	あり
キーロック	あり

表 7-1. 仕様一覧表 (続き)

特にモデル名の記載がない箇所については、TD-X55 シリーズ共通仕様です。

電氣的仕様	
電源	AC 100V±10% (50/60 Hz)
電力消費量 (通常使用時)	TD-X551M : 170W (平均)、213W (最大) TD-X551X : 240W (平均)、315W (最大)
電力消費量 (スタンバイモード)	0.5W
環境的仕様	
動作温度	0℃～40℃、85% RH
保管温度	-20℃～60℃、70% RH
ソフトウェア	
Video Wall Toolbox	Windows OS が必要です。
寸法	
枠幅	3.3 mm (上 / 左) 1.8 mm (下 / 右)
非表示エリア	5.6 mm (通常)
仕様は予告なしに変更されることがあります。	

7.2 サポートしているタイミング

表 7-2 は、本機のそれぞれの入力でサポートされる信号のタイプの一覧です。

表 7-2. 入力でサポートしているタイミング

タイミング		水平同期 周波数 (fH) (kHz)	垂直同期 周波数 (fV) (Hz)	ドット クロック (MHz)	HDMI	PC	コンポーネント	S-Video	コンポジット	DVI	DisplayPort
VESA	VGA 640×480	31.469	59.94	25.175	0	0●	-	-	-	0●	0
		37.861	72.809	31.5	0	0	-	-	-	0	0
		37.5	75	31.5	0	0	-	-	-	0	0
		43.269	85.008	36	0	0	-	-	-	0	0
	SVGA 800×600	35.156	56.25	36	0	0	-	-	-	0	0
		37.879	60.317	40	0	0●	-	-	-	0●	0
		48.077	72.188	50	0	0	-	-	-	0	0
		46.875	75	49.5	0	0	-	-	-	0	0
		53.674	85.06	56.25	0	0	-	-	-	0	0
	XGA 1024×768	48.363	60.004	65	0	0●	-	-	-	0●	0
		56.476	70.069	75	0	0	-	-	-	0	0
		60.023	75.029	78.75	0	0	-	-	-	0	0
		68.677	84.997	94.5	0	0	-	-	-	0	0
	WXGA1360×768	47.712	60.015	85.5	0	0●	-	-	-	0●	0
	1280×720	44.444	59.98	64	0	0●	-	-	-	0●	0
		44.772	59.86	74.5	0	0●	-	-	-	0●	0
		56.456	74.78	95.75	0	0	-	-	-	0	0
	1280×768	47.776	59.87	79.5	0	0●	-	-	-	0●	0
		47.396	59.995	68.25	0	0●	-	-	-	0●	0
		68.633	84.837	117.5	0	0	-	-	-	0	0
1280×800	49.306	59.91	71	0	0●	-	-	-	0●	0	
	49.702	59.81	83	0	0●	-	-	-	0●	0	
SXGA	1152×864	67.5	75	108	0	0	-	-	-	0	0
		63.981	60.02	108	0	0	-	-	-	0	0
	1280×1024	79.976	75.025	135	0	0	-	-	-	0	0
		91.146	85.024	157.5	0	0	-	-	-	0	0

0 = 単一ディスプレイで対応しているタイミング ● = ビデオウォールで対応しているタイミング

480i は、480i@60Hz (YPbPr) 対応を意味します。576i は、576i@50Hz (YPbPr) 対応を意味します。

表 7-2. 入力でサポートしているタイミング (続き)

タイミング		水平同期 周波数 (fH) (kHz)	垂直同期 周波数 (fV) (Hz)	ドット クロック (MHz)	HDMI	PC	コンポーネント	S-Video	コンポジット	DVI	DisplayPort	
VESA (続き)	SXGA +	1400× 1050	64.744	59.95	101	0	0	-	-	-	0	0
			65.317	59.98	121.75	0	0	-	-	-	0	0
	1440×900	55.469	59.901	88.75	0	0	-	-	-	0	0	
		55.935	59.88	106.5	0	0	-	-	-	0	0	
	WSXGA+ 1680×1050	64.674	59.883	119	0	0●	-	-	-	0●	0	
		65.29	59.954	146.25	0	0●	-	-	-	0●	0	
UXGA 1600×1200	75	60	162	0	0●	-	-	-	0●	0		
1920×1080	66.587	59.93	138.5	0	0●	-	-	-	0●	0		
SDTV	NTSC	15.734	29.97	13.5	-	-	480i	0	0	-	-	
	PAL	15.625	25	13.5	-	-	576i	0	0	-	-	
EDTV	480p	31.5	60	27.03	0	-	0	-	-	0●	0	
	576p	31.25	50	27	0	-	0	-	-	0●	0	
HDTV	720p 1280×720	37.5	50	74.25	0	-	0	-	-	0●	0	
		44.995	59.94	74.176	0	-	0	-	-	0●	0	
		45	60	74.25	0	-	0	-	-	0●	0	
	1080i 1920×1080	28.13	50	74.25	0	-	0	-	-	0	0	
		33.716	59.94	74.176	0	-	0	-	-	0●	0	
		33.75	60	74.25	0	-	0	-	-	0●	0	
	1080p 1920×1080	27	24	74.25	0	-	-	-	-	-	0	
		28.125	25	74.25	-	-	-	-	-	-	-	
		33.716	29	74.18	-	-	-	-	-	-	-	
		33.75	30	74.25	-	-	-	-	-	-	-	
56.25		50	148.5	0	-	0	-	-	0●	0		
67.433	59.94	148.352	0	-	0	-	-	0●	0			
67.5	60	148.5	0	-	0	-	-	0●	0			

0 = 単一ディスプレイで対応しているタイミング ● = ビデオウォールで対応しているタイミング

480iは、480i@60Hz (YPbPr) 対応を意味します。576iは、576i@50Hz (YPbPr) 対応を意味します。

7.3 外形寸法

(単位：mm)

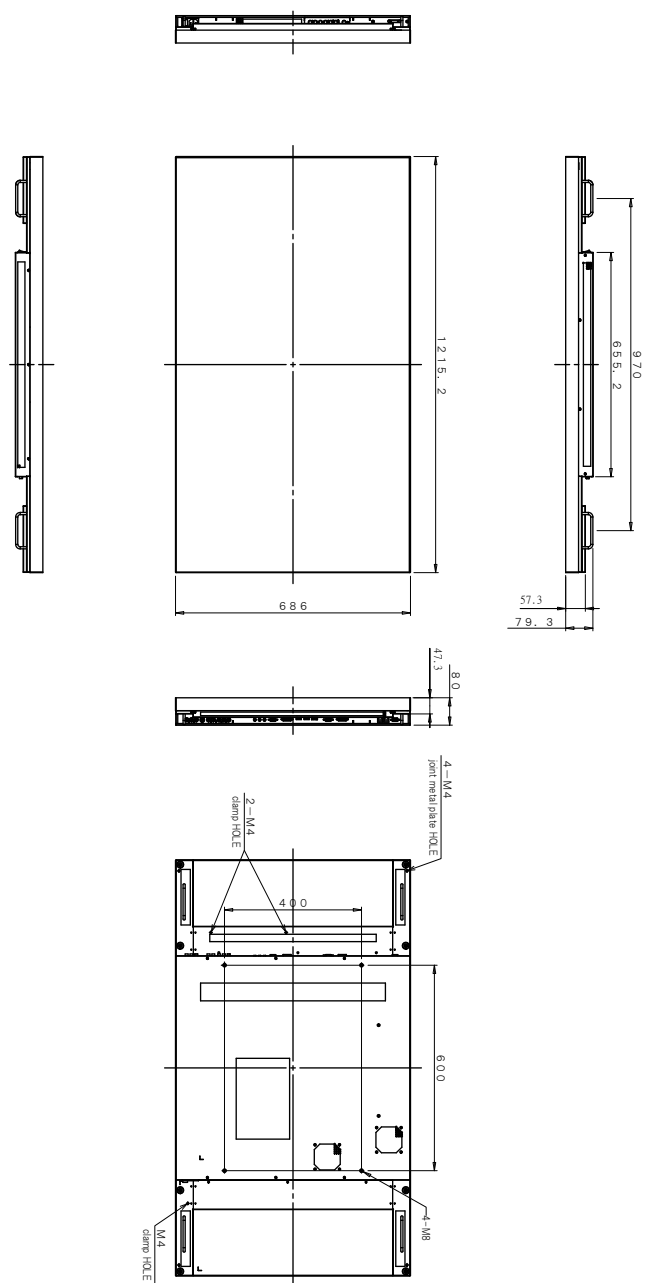


図 7-1. 外形寸法 (TD-X551M、TD-X551X)

D

DisplayPort2, 8

I

IR コード 57

O

OSD コントロール4, 8, 26

DisplayPort オーディオ入力34

HDMI オーディオ入力34

IRFM 37

LED の挙動35

PIP 位置33

PIP 左右に並べて表示 スケール33

PIP 入力信号33

PIP モード33

アスペクト比33

色温度32

オーディオ音量34

オフセット32

画像位置 (VGA)36

ガンマ31

輝度28

クロック (VGA)37

ゲイン32

高音34

コントラスト29

彩度30

色相31

自動スキャン33

自動調整 (VGA)36

シャープネス30

ズーム33

スリープタイマー35

低音34

電源オフタイマー36

電源オンタイマー36

肌色 (ビデオ)37

バックライト31

バランス34

日付36

フェーズ (VGA)36, 44

ポーレート37

メイン入力信号33

メニューの言語35

メニューのサイズ35

メニューのタイムアウト35

メニューの透明度35

メニューの場所35

メニューの向き35

P

PIP33

位置33

左右に並べて表示 スケール33

信号8

入力信号33

モード33

R

RS-232C

コマンド形式45

コマンド例46

サポートされているコマンド46-50

接続45

V

Video Wall Toolbox51-56

あ

アスペクト比8, 33, 43

い

色温度32

色の彩度30

お

オーディオ

DisplayPort34

HDMI34

音量8, 34

高音34

低音34

バランス34

ミュート8

オフセット32

色温度を参照

か

ガンマ31

き

キーパッド4, 33

規則

表記1

輝度8, 28, 44

け

ゲイン32

色温度を参照

こ

コントラスト 8, 29, 44

し

色相 31
 シャープネス 30
 重量 59
 主電源スイッチ 3
 状態
 PIP 入力信号 40
 温度 37
 解像度 40
 動作時間 40
 ファームウェアバージョン 40
 ファン速度 37
 メイン入力信号 40
 リフレッシュレート 40
 信号の互換性 44, 59

す

ステータス LED 3, 35
 寸法 60

せ

接続

AC 電源 5
 DisplayPort 5
 DVI-D 出力 5, 22
 DVI-D 入力 6, 18
 HDMI 6, 18
 IR 拡張 6
 RS-232C 入力 6, 45
 RS-485 出力 6, 23
 RS-485 入力 6, 23
 S-Video 6, 21
 S-Video 音声 6
 VGA 出力 5, 22
 VGA 入力 6
 オーディオ出力 6
 オーディオ入力 6
 コンポーネント 6, 44
 コンポーネント音声 6
 コンポジットビデオ 6, 21
 コンポジットビデオ音声 6

て

電力消費量 60

と

同梱品 2
 トラブルシューティング 43

は

バックライト 31, 44

ひ

ピクチャーインピクチャー PIP を参照

ふ

フェーズ 36

ほ

ボーレート 37, 45

め

メンテナンス 43

り

リモコンユニット 2, 7
 乾電池 9
 ロック 9, 43
 ロック解除 9, 43



**TD-X55 シリーズ
TD-X551M/TD-X551X
液晶ディスプレイ**

取付／取扱説明書
平成 26 年 5 月 第 2 版発行
発行：東芝ライフスタイル株式会社
〒198-8710 青梅市末広町 2-9